SONY®

# 日本語ワープロ
# 漢熟トマトの使いかた
# (ディスク+漢字ROM版)

このプログラムは，MSX および MSX2 マークがついていないパーソナルコンピューターでは使用できません。



ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害，または第三者からのいかなる請求についても，当社は一切その責任を負い兼ねます。

万一，製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

ソフトウェアの仕様は，改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

# はじめに

本書は，MSXコンピューターのためのソフトウェア「日本語ワープロ・漢熟トマト」の説明書です。

この説明書に従って操作すれば，わずか1時間でだいたいの操作と機能はマスターできます。

本書は次の５部構成になっています。

- 1 お使いになる前に
- 2 ミニレッスン (1)
- 3 ミニレッスン (2)
- 4 これだけは覚えよう
- 5 こんなふうに使おう (機能詳細編)

1を一通り読んで2のミニ・レッスンに進んでください。それだけで簡単な文章なら自由に作れるようになります。

# 目 次

## 付録

# Ⅰ章　お使いになる前に

# 主な機能

## 1.基本的な機能

**文書作成**　**文書を作って画面に表示する**

漢字の読みがな（ひらがな・カタカナ）で入力すると，コンピューターがそれに応じた漢字を表示してくれる「かな漢字変換方式」で文章がつくれます。かなや記号の入力には，本格的なワープロと同様に，「かな入力モード」「ローマ字入力モード」「16進コード入力」「文字選択入力」があります。

画面表示は，MSXで14文字×6行，$MSX_2$で30文字×15行または30文字×6行です。

**文書保存**　**作った文書をとっておく**

せっかく作った文書も，記録として残しておかなくては何にもなりません。この「ワープロ」では，3.5インチフロッピーディスクに保存しておくことができます。1文書は，A4版10ページ以上（約14,000文字）可能です。

**文書呼出**　**保存されている文書を画面に表示する**

保存し終わった文書の中のまちがいを直したり，途中で保存しておいた文書の続きを入力したいとき，文書を画面に呼び出して修正したり，追加したりすることができます。

**文書印字**　**作った文書を印刷する**

作り終わったばかりの文書やすでに保存されている文書を，プリンターを使って紙に印刷できます。用紙の大きさや文字間，縦書き，印刷する枚数などの指定が可能です。

**編集機能**　**タイトルを作ったり，同じ文を文章の何ヶ所かに使う**

ワープロの最大の特徴は，この「編集機能」です。

「センタリング」や「右寄せ」,「移動」「複写」などにより，速く正確な編集作業で，体裁を整えることができます。また，「レイアウト」という機能もあり，全体のレイアウトを確認しながら入力していくことができるのでとても便利です。

## 2. その他の便利な機能

**結合機能**　**文書を合成する**

招待状などでは，あて先が違うだけで中味の文章は同じです。そんなときは，中味の文章だけを登録しておき，あとで他の文書と合成して，表示したり，印刷することができます。

**文書削除**　**保存してある文書をそっくりそのまま取り除く**

フロッピーディスクに保存できる文章の数には限りがあります。新しく入力した文章を，満杯になったフロッピーディスクに保存したいとき，すでに保存してある文章を消し，余地を作って新しい文章を入れることができます。

**熟語登録・削除**　**よく使う熟語や語句，短文や記号を登録しておき，簡単に呼び出す**

文章中によく出てくる熟語や語句などは，短い読みで登録しておいて，簡単に呼び出すことができます。また，いったん登録した語句も簡単に削除できます。(最大64文字までの語句が登録でき，13文字までの読みを与えることができます。)

**外字作成・選択**　**あなた自身がデザインしたパターンを登録し，表示させる**

1文字は16×16の点からなっていますので，好きなマークを簡単につくることができ，それを登録したり，あとで呼び出したりすることが可能です。また，

登録した外字を表示したり，変更して使ったりもできます。
(登録できる数は約650字です。)

**守秘機能** **誰にも見られたくない文書にパスワード（合い言葉）をつけて保存する**

作成した文書を誰にも見られたくない場合には，8文字までのパスワードをつけられます。文書呼び出し時にパスワードが合っていないと，おかしな文書が表示されます。

**ユーティリティ** **「ワードランド文II」の文書テープをディスクに移す**

ソニーの「日本語ワープロ・ワードランド文II」で作成した文書テープの内容をこのワープロの文書ディスクに移すことができます。

# 準備

## 1. 必要なもの

この「日本語ワープロ・漢熟トマト」のパッケージには，

・プログラムディスク……3.5インチフロッピーディスクで，この中に「ワープロ」のプログラムが入っています。

ご注意　ディスクドライブを2台お使いのときは，プログラムディスクは必ずドライブA（画面ディスク対応であること）に入れてください。違うドライブに入れると，DISK BASICがスタートします。

・文例集ディスク……日常よく使う文書が50文例納められた3.5インチディスクです。

・この説明書（「使いかた」）……ご使用前によくお読みください。

が入っています。

必要な機器としては，次のようなものがあります。

・MSX漢字ROM（内蔵されているものは不要）

・RAM容量64KB以上のMSXパーソナルコンピューター（ソニーHB-F500やHB-F5など）

・画面ディスク対応の増設フロッピーディスクドライブ（ソニーHBD-30Wなど）……画面ディスク対応ドライブが内蔵されているコンピューターでは必要ありません。ドライブBとして使用するフロッピーディスクドライブは片面用のディスクドライブでもかまいません。

・モニター用カラーテレビなど（$MSX_2$の場合は，専用のRGBモニターを使用しないと画面が粗くなります。）

ご注意　$MSX_2$は3種類の画面モードが選択できます。数字キー[1]または[2]を押しながら電源を入れるか，またはRESETボタンを押して，プログラムをスタートしてください。（[1]では14文字×6行，[2]では30文字×6行の画面になります）

また，一部のシステムでは，起動時に「このシステムではつかえません」というメッセージが出ることがあります。その場合は，CTRLキーを押しながら電源を入れるかまたはRESETボタンを押して，プログラムをスタートしてください。

・使用できるプリンターの種類は以下の通りです。

ソニーPRN-T24（漢字ROMつき）

ソニーPRN-T24（漢字ROMなし）

ソニーPRN-C41（漢字ROM PRN-K41要）

ソニーSMI-720

ブラザーHR-5X/6X

エプソンRP-80(ESC/P)

（プリンター規格ESC/P対応です。）

その他上記同仕様のプリンター

ご注意

・ブラザーHR-5Xを使う場合は，プリンターのDIPスイッチNo. 8をOFFに，HR-6Xの場合はスイッチNo. 7をOFFに設定してください。それ以外のスイッチ，およびその他のプリンタースイッチ類は，すべて工場出荷時の状態でお使いください。

・ソニーPRN-C41（漢字ROMつき）では以下の機能は使えません。

下線・けい線の印刷

16進コード2820～287Fの文字および外字の印刷

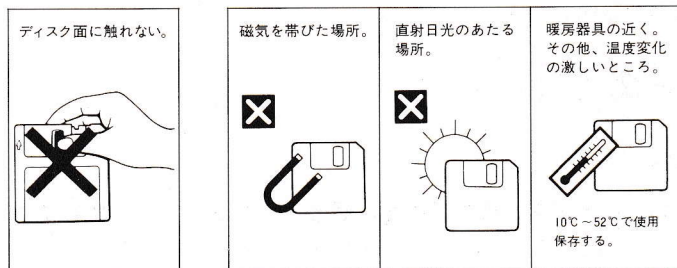
16進コード××20と××7Fの文字の印刷

# 2. 接続

それぞれの機器の取扱説明書（「使いかた」）に従い，正しく接続してください。

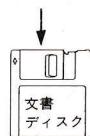
・電源プラグをコンセントに差し込むのは，接続がすべて終わってからにしましょう。

# ディスクについて

## 1.　取り扱い上／置き場所のご注意

## 2.　プログラムディスクの使用上のご注意

日本語ワープロのプログラムディスクには，プログラムや辞書などが磁気記録されています。
プログラムディスクには，作成した熟語，短文，外字などを記録しますので，書き込み可能な状態でご使用ください。

## 3.　文書ディスクの用意

作成した文書を保存するには，文書ディスクが必要です。新しい3.5インチフロッピーディスクを用意し，DISK BASICのFORMATコマンドを利用して，文書ディスクとなるディスクをフォーマットしてください。
(付属の文例集ディスクも文書ディスクとして使用できます。)

**ディスクのフォーマットについて**

MSXコンピューターで使用できるフロッピーディスクのフォーマットは8種類あり，コンピューターによっては，使用できないフォーマットもあります。
他のMSXコンピューターへデータを移管する場合には，80トラック片面仕様のMSX標準フォーマットでお使いください。

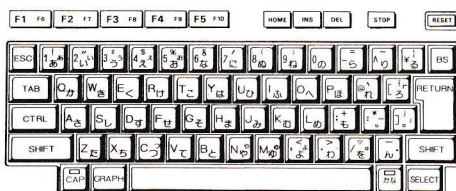
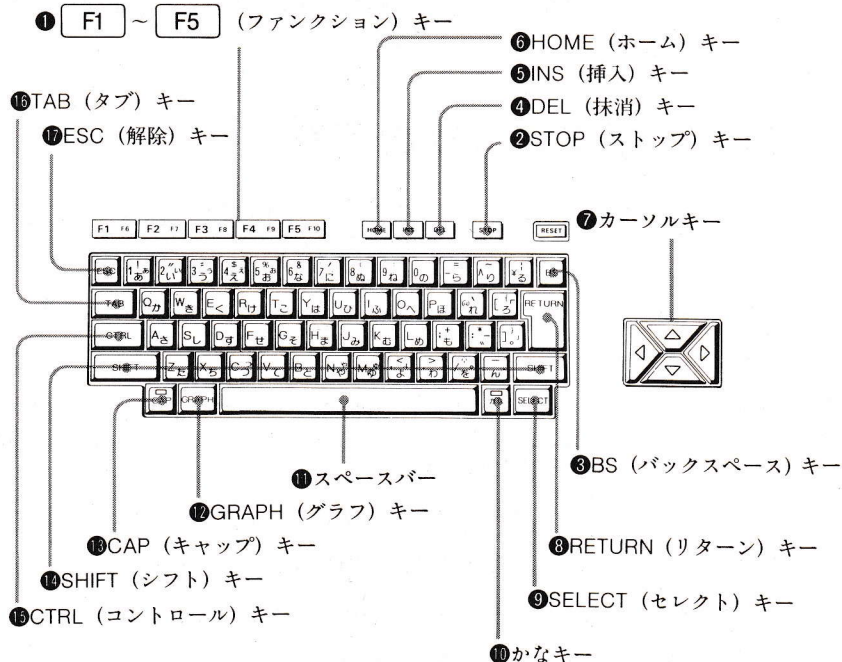
# 各キーの働き

この「日本語ワープロ・漢熟トマト」では，それぞれのキーにいくつかの役割が与えられています。ここでは，この「ワープロ」に特別のキーの使いかたを中心に説明します。

## キーの配列

### 1.　文字キー

**カタカナ，ひらがな，英字，数字，記号を打ち込むときに使います。**

### 2.　文字以外のキー

❶ F1 ～ F5 （ファンクション）キー
❻HOME（ホーム）キー
❺INS（挿入）キー
❹DEL（抹消）キー
❷STOP（ストップ）キー
⓰TAB（タブ）キー
⓱ESC（解除）キー
❼カーソルキー
❸BS（バックスペース）キー
⓫スペースバー
⓬GRAPH（グラフ）キー
⓭CAP（キャップ）キー
⓮SHIFT（シフト）キー
⓯CTRL（コントロール）キー
❽RETURN（リターン）キー
❾SELECT（セレクト）キー
❿かなキー

### 1.　文字キー

通常のMSXまたはMSX2パーソナルコンピューターを使っているときと同じです。(くわしくは，MSXまたはMSX2コンピューターの取扱説明書をごらんください。)

### 2.　文字以外のキー

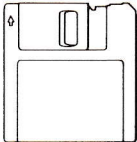
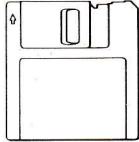
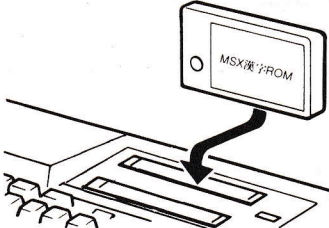
この「日本語ワープロ・漢熟トマト」では，これらのキーの使いかたに特徴があります。各キーの機能は次のとおりです。

| キーNo. | キーの名称 | キーの機能 |
|---|---|---|
| ❶ | F1 ～ F5 (ファンクション) キー | 画面の下方に機能名が表示されます。(左端はいつも その他 です。) 左から順に F1 から F5 キーまでに対応しており，対応するキーを押すことでその機能が選択されて実行されます。詳しくはミニ・レッスンをごらんください。 |
| ❷ | STOP (ストップ)キー | メインメニュー (24ページ参照) で機能の選択を誤ったとき，このキーを押すとメニュー画面に戻ります。また，選択した処理を中断するときにも使います。 |
| ❸ | BS (バックスペース)キー | 文字を入力中に，カーソル (59ページ参照)のすぐ前にある1文字を消して，カーソルのある文字からその行の最後までを1字ずつ詰めていきます。 |

| キーNo. | キーの名称 | キ ー の 機 能 |
| --- | --- | --- |
| ❹ | DEL（抹消）キー | 文字を入力中に，カーソル（59ページ参照)のある1文字を消して，カーソルのある文字の次からその行の最後までを1字ずつ詰めていきます。また，SHIFT キー⓮を押しながらこのキーを押すと，カーソルがある位置へ次の行の先頭を持ってくること（行の併合）ができます。 |
| ❺ | INS（挿入）キー | すでに入力されている文字などと次の文字などの間に追加するときに使います。このキーを押すと，カーソル（59ページ参照）の色が変わりますので追加したい位置の1文字後にカーソルを移動させて，追加する文字などを入力してください。再度このキーを押すまで，追加できる状態が続きます。 |
| ❻ | HOME（ホーム）キー | このキーを押すと，カーソル（59ページ参照)が，いま入力している文章の第1ページ目，第1行第1文字目に移動し，画面表示も同時に変わります。また，SHIFT キー⓮を押しながらこのキーを押すと，カーソルは，入力してある最終ページの最後の文字に移動します。 |

| キーNo. | キーの名称 | キ　ー　の　機　能 |
| --- | --- | --- |
| ❼ | カーソルキー | カーソル（59ページ参照）を上下左右に移動させます。(入力中と，その他の場合では機能が少し違います。)押し続けると，その方向に連続してカーソルを動かすことができます。<br>文字を入力中は[△]または[▽]キーを[SHIFT]キー⓮と同時に押すと，カーソルが1画面分ずつ後または前に移動します。<br>また，カーソルを右方向に移動させると，通り過ぎた箇所は，変換・移動・複写などの処理の対象となります。(59ページ参照) |
| ❽ | [RETURN]（リターン）キー | 変換対象（59ページ参照）があるときは，対象が消えて確定されます。また変換対象がないときは，このキーを押すと改行します。(次の行の最初にカーソル(59ページ参照)が移動します。)さらに[SHIFT]キー⓮を押しながらこのキーを押すと，行間あけを行います。 |
| ❾ | [SELECT]（セレクト）キー | 漢字変換をしているとき，表示したい漢字を選んでいる場合に，希望の漢字が通り過ぎてしまったら，このキーを押すと，漢字が1字ずつ戻って表示されます。(30ページ参照) |

| キーNo. | キーの名称 | キーの機能 |
| --- | --- | --- |
| ❿ | かなキー | かな文字を表示させたいとき押します。CAP（キャップ）キー⓭が押されていなければ，ひらがなを表示し，押されていればカタカナを表示します。 |
| ⓫ | スペースバー | 変換対象（59ページ参照）がないときは，通常のときと同様空白をあけます。対象があるときは，漢字変換（26ページ参照）を行います。変換中はこのキーを押すと，漢字が順々に表示されます。また，SHIFT キー⓮を押しながらこのキーを押すと，変換中の部分を確定し，次の部分を変換します。 |
| ⓬ | GRAPH（グラフ）キー | けい線を引いたり（GRAPH キーを押しながらカーソルキーを押す），記号を表示するときに使います。 |
| ⓭ | CAP（キャップ）キー | かな キー❿とともに押されているときは，カタカナを表示します。英文字の場合は，通常のときと同様大文字を表示します。 |
| ⓮ | SHIFT（シフト）キー | 通常の使いかたの他に，DEL キー❹，HOME キー❻，カーソルキー❼，RETURN キー❽，スペースバー⓫，ESC キー⓱などは，このキーを押しながら押すと，それぞれ違った便利な機能を実行できます。 |

| キーNo. | キーの名称 | キーの機能 |
| --- | --- | --- |
| ⓯ | CTRL（コントロール）キー | このキーを押しながらSTOPキー❷を押すと，プリンターの処理を中断することができます。 |
| ⓰ | TAB（タブ）キー | このキーを押すと，いまのカーソル（59ページ参照）の位置からカーソルが4文字分移動します。 |
| ⓱ | ESC（解除）キー | 変換対象（59ページ参照）を1文字減らすのに使います。SHIFTキー⓮を押しながらこのキーを押すと，漢字変換（26ページ参照）を中止します。 |

# II章　ミニ・レッスン(1)
# —基礎編

# 起動（スタート）

## 1　ディスクとROMの用意

次のディスクとROMを用意します。

・プログラムディスク

・文書ディスク（フォーマットしたディスク。13ページ参照。）

・MSX漢字ROM

プログラム
ディスク

文書ディスク
（フォーマット済みのもの）

## 2　漢字ROMのセット

・MSX漢字ROMをコンピューター本体のスロットに差し込みます。

## 3　電源ON

次の順で電源を入れます。

①プリンター

②モニターテレビ

③コンピューター，ディスクドライブ

## 4 プログラムディスクのセット

①プログラムディスクをディスクドライブに差し込みます。
（カチッと音がするまで差し込んでください。）

②リセットボタンを押します。（または本体の電源を入れ直します。）
しばらくすると右画面が表示されます。
（処理に時間がかかる場合があります。ディスクドライブの使用中ランプがついている間は絶対にディスクを抜かないでください。）

```
文書ディスクを
    セットして[RETURN]
```

注1）2ドライブの機器では，このとき同時に文書ディスクも差し込みます。このメッセージは出ません。

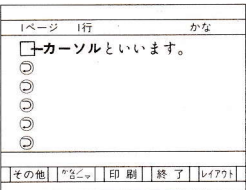
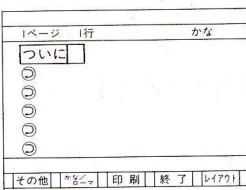
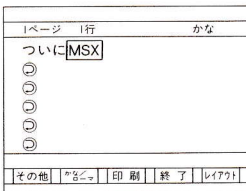
プログラムディスク →ドライブA
文書ディスク →ドライブB

注2）「このシステムはつかえません」というメッセージが出た場合は，CTRL キーを押しながら電源を入れるかまたはRESETボタンを押して，プログラムをスタートしてください。

## 5 文書ディスクのセット

①使用中ランプが消えたら，EJECTボタンを押しプログラムディスクを取り出します。

②文書ディスクを差し込み RETURN を押します。

しばらくすると右の画面が表示されます。

```
漢熟トマト

1 新規作成
2 文書修正
3 文書印刷
4 文書削除
5 終　　了

△▽で選んで[RETURN]
(C)1985, Sony
```

## 文書の作成

| | |
|---|---|
| **1 メニューの選択**<br>画面にメインメニューが表示されます。<br>①カーソルキーの▽△で"1新規作成"を選択します。<br>② RETURN を押します。<br>(メニューの選択は，メニュー番号を直接入力する方法でもできます) | 漢熟トマト<br>1 新規作成<br>2 文書修正<br>3 文書印刷<br>4 文書削除<br>5 終　了<br>△▽で選んで RETURN<br>(C)1985, Sony<br>注) 処理選択で間違えた場合は STOP キーを押してください。メインメニューに戻ります。 |
| **2 新規作成の表示**<br>しばらくすると新規作成の画面表示になります。 | 新規作成<br>作成する文書名を入れ RETURN<br>□ |
| **3 文書名の入力**<br>(文書名をMSX1とする)<br>① M S X 1 と入力します。<br>② RETURN を押します。<br>間違って文書名を入力したら DEL または BS で消して再入力します。 | 新規作成<br>作成する文書名を入れ RETURN<br>MSX1<br>注1) 文書名の頭は必ず英文字にすること。<br>注2) 文書名は最大8文字までの英数字です。 |
| **4 プログラムディスクのセット**<br>①使用中ランプが消えたら文書ディスクをディスクドライブから取り出します。<br>②プログラムディスクをディスクドライブに入れます。<br>③ RETURN を押します。 | プログラムディスクを<br>セットして RETURN<br>注) 2ドライブの機器ではこのメッセージは出ません。 |

| 手順 | 入力例・画面 |
| --- | --- |
| **5 準備完了**<br>これで準備はOK！右の例文を実際に入力してみます。以下に表示するキーのとおり押してください。 | 1)ついにMSXワープロを手に入れたぞ！<br>2)さあラブレターも年賀状もジャンジャン書くぞ。 |
| **6 入力モードの選択**<br>入力の方法には<br>①かな変換<br>②ローマ字変換<br>の2種類あります。ここでは①のかな変換で入力します。<br>[F2]を押し，画面右上の表示を“かな”にします。 | 1ページ　1行　かな<br>□←カーソルといいます。<br>その他　かな/ローマ　印刷　終了　レイアウト |
| **7 かな文字の入力**<br>①[かな]（ランプ点灯）<br>②[つ][い][に]<br>③[RETURN] | [ついに]MSXワープロを手に入れたぞ！<br>1ページ　1行　かな<br>ついに<br>その他　かな/ローマ　印刷　終了　レイアウト |
| **8 英数文字（大文字）の入力**<br>①[かな]（ランプ消灯）<br>②[SHIFT]押しながら[M][S][X]<br>あるいは[CAP]を押し（ランプ点灯）[M][S][X]<br>③[RETURN] | ついに[MSX]ワープロを手に入れたぞ！<br>1ページ　1行　かな<br>ついにMSX<br>その他　かな/ローマ　印刷　終了　レイアウト |

| 9 カタカナ文字の入力 | ついにMSX［ワープロを］手に入れたぞ！ |
| --- | --- |
| ①［かな］（ランプ点灯）<br>②［CAP］（ランプ点灯）［わ］<br>③［SHIFT］押しながら［ー］<br>④［ふ］［゜］［ろ］<br>⑤［CAP］（ランプ消灯）［を］<br>⑥［RETURN］ | 1ページ　1行　かな<br>ついにMSX［ワープロを］［ ］<br>その他　かな/ローマ　印刷　終了　レイアウト |
| 10 漢字変換 | ついにMSXワープロを［手に入れたぞ！］ |
| ①［て］［に］［スペース］<br>②画面下に番号を付した同音の漢字が表示されるので該当番号を入力し，［RETURN］を押します。（この場合は［1］［RETURN］）<br>③［い］［れ］［た］［そ］［゛］［スペース］<br>④②と同じ操作を繰り返します。<br>⑤［かな］（ランプ消灯）<br>⑥［SHIFT］押しながら［1］<br>⑦［RETURN］<br>⑧［RETURN］（改行され，カーソルは次の行の先頭に移動します。） | 1ページ　1行　かな<br>ついにMSXワープロを［手に］<br>その他　かな/ローマ　印刷　終了　レイアウト<br><br>1ページ　1行　かな<br>ついにMSXワープロを手に入れたぞ！<br>その他　かな/ローマ　印刷　終了　レイアウト |

### 記号・濁点などを入力するには

かな ランプ消灯

④ ③ ② ①

かな ランプ点灯

| | |
|---|---|
| ①の位置にある文字を入力する時 | かな ランプ点灯 |
| ②の位置にある文字を入力する時 | かな ランプ点灯<br>SHIFT を押しながら |
| ③の位置にある文字を入力する時 | かな ランプ消灯 |
| ④の位置にある文字を入力する時 | かな ランプ消灯<br>SHIFT を押しながら |

例えば・読点 ← かな ランプ点灯　SHIFT を押しながら

・句点 ← かな ランプ点灯　SHIFT を押しながら

・長音 ← かな ランプ点灯　SHIFT を押しながら

・半濁点 ← かな ランプ点灯

・濁点 ← かな ランプ点灯

(すべてかなモードの場合です)

| 11　ローマ字入力 | さあラブレターも年賀状もジャンジャン書くぞ。 |
|---|---|
| 5で説明したとおり，ローマ字でも入力できます。例文の2を入力してみましょう。<br>F2 で画面右上の表示を"ローマ"にします。<br>① かな (ランプ点灯)<br>② S A A<br>③ CAP (ランプ点灯) R A B U R E T A<br>④ SHIFT 押しながら ー<br>⑤ CAP (ランプ消灯) M O N E N G A J O U M O<br>⑥ CAP (ランプ点灯) J A N J A N<br>⑦ CAP (ランプ消灯) K A K U Z O 。<br>⑧ RETURN<br>注) ローマ字のつづりかたは109ページのローマ字一覧表を参照。 | 1ページ　1行　ローマ<br>□<br><br>その他　かな/ローマ　印刷　終了　レイアウト<br><br>1ページ　1行　ローマ<br>さあラブレターもねんがじょう<br>もジャンジャンかくぞ。□<br><br>その他　かな/ローマ　印刷　終了　レイアウト |

## 12 漢字変換

①カーソルを“ね”の上におき，[▷]で“う”までカーソルを進め，変換対象にします。

②[スペース]

③“ねん”の漢字“年”を探し，その番号を押します。

④[SHIFT]を押しながら[スペース]

⑤“年”になるとともに“が”の同音漢字が表示されます。
最大9個の漢字が表示されます。該当の文字がない場合は，[0]を押すと次の漢字群が表示されますので，そこから探していきます。

⑥③，④と同じ操作を行ない，“じょう”も変換します。

⑦[RETURN]

⑧同様にして“かく”を変換します。
カーソルを進め変換対象にします。

⑨[スペース]

⑩“かく”の漢字“書”を探し，その番号を押します。

⑪[RETURN]

⑫[RETURN]（改行され，カーソルは次の行の先頭に移ります。）

1ページ 1行 ローマ
さあラブレターも年賀状もジャンジャン書くぞ。
その他 印刷 終了 レイアウト

**漢字変換について**

●捜している漢字が1の位置にあったら――

RETURN を押すだけで，確定できます。

●捜している漢字が画面上に表示されていなかったら――

0 （ゼロ）を押すと，全部の漢字が新しく入れ替わります。

●該当する漢字が通り過ぎてしまったら――

SELECT を押すと，1文字ずつ戻ります。

●漢字変換をする必要がないのに スペース を押してしまったら――

SHIFT を押しながら ESC を押すと，かなに戻ります。

●文などのように長い変換対象をつくって変換したいときは――

例

えいごは，むずかしい。 （英語は，難しい。）

①まず，“えい”に対して，“英”が変換される。

② SHIFT を押しながら スペース を押して，“英”を確定し，“ご”を“語”に変換させる。

③“は”と“，”は変換しない。このような場合は， ESC を押すと，まず，“語”が確定し，“は”が変換対象から外される。再び ESC を押して，“，”も変換対象から外す。

④“むずかしい。”を スペース を押して変換したら， RETURN を押して確定する。

つまり， SHIFT を押しながら スペース を押すと，変換中の漢字が確定され，次の変換を行う。また， ESC を押すと，確定されていない漢字があれば，それを確定し，対象を1字減らす。（確定する漢字がないときは，対象を1文字減らすだけ。）

## 文字の削除・挿入

<table>
<tr><td>

**1　削除**

**DEL キー使用の場合**

①削除したい文字にカーソルを合わせます。

② DEL を押します。カーソル上の文字が消え，後の文字が1字ずつ詰まります。

③消したい文字数だけ DEL を押します。

</td><td>

1ページ　1行　ローマ<br>ついにMSXワープロを手に入れたぞ！

1ページ　1行　ローマ<br>ついにSXワープロを手に入れたぞ！

1ページ　1行　ローマ<br>ついにワープロを手に入れたぞ！

</td></tr>
<tr><td>

**BS キー使用の場合**

①削除したい文字の1文字あとにカーソルを合わせます。

② BS を押します。カーソルより1つ前の文字が消え，後の文字が1字ずつ詰まります。

③消したい文字数だけ BS を押します。

</td><td>

1ページ　1行　ローマ<br>ついにMSXワープロを手に入れたぞ！

1ページ　1行　ローマ<br>ついにMSワープロを手に入れたぞ！

1ページ　1行　ローマ<br>ついにワープロを手に入れたぞ！

</td></tr>
<tr><td>

**2　挿入**

①文字を挿入する箇所の次の文字にカーソルを合わせます。

② INS を押す。カーソルの色が変わります。

③挿入したい文字を打ち込みます。

④挿入し終わったら，再度 INS を押します。

</td><td>

1ページ　1行　ローマ<br>ついにワープロを手に入れたぞ！　↑文字挿入

1ページ　1行　ローマ<br>ついにMワープロを手に入れたぞ！

1ページ　1行　ローマ<br>ついにMSXワープロを手に入れたぞ！

</td></tr>
</table>

## 3 入力ミスの修正

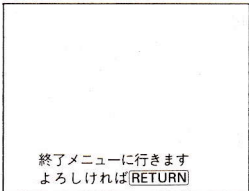
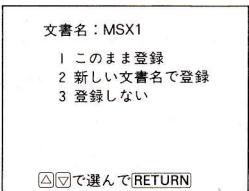
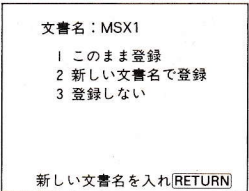
削除・挿入のほかに重ね書きができます。

①修正したい文字にカーソルを合わせます。

②正しい文字を打ち RETURN を押します。

1ページ　1行　ローマ

ついにMSX ワープ レ を手に
入れたぞ！ ⏎

1ページ　1行　ローマ

ついにMSX ワープ 口 を手に
入れたぞ！ ⏎

## 文書の登録

画面に出ている，できあがった文書は，電源を切ると消えてしまいます。ディスクに登録しておくと，必要な時に呼びだすことができます。

<table>
<tr><td>

**1 文書入力終了**

①F4（終了）を押します。
②右の画面が表示されたらRETURN

</td><td>

終了メニューに行きます
よろしければRETURN

</td></tr>
<tr><td>

**2 文書ディスクのセット**

しばらくすると、右の画面が表示されます。
①使用中ランプが消えたら，EJECTボタンを押し，プログラムディスクを取り出します。
②文書ディスクを差し込みRETURN

</td><td>

文書ディスクを
セットしてRETURN

注）2ドライブの機器ではこのメッセージは出ません。

</td></tr>
<tr><td>

**3 処理の選択**

文書の処理方法が表示されます。

**このまま登録する場合**

①△▽で1を選択し，RETURN
②最初に入力した文書名で，打ちこんだ文書が登録されます。

**新しい文書名で登録する場合**

①△▽で2を選択し，RETURN
②右の画面が表示されたら，新しい文書名を入力します。
③RETURN

</td><td>

文書名：MSX1
1 このまま登録
2 新しい文書名で登録
3 登録しない
△▽で選んでRETURN

文書名：MSX1
1 このまま登録
2 新しい文書名で登録
3 登録しない
新しい文書名を入れRETURN

注1）文書名の頭はかならず英文字にすること。
注2）文書名は最大8文字までの英数字です。

</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| ④新しい文書名で打ち込んだ文書が登録されます。<br>いずれの場合も，RETURN を押すと，次のステップに進みます。<br>**登録しない場合**<br>①△▽で3を選択し RETURN<br>②入力した文書は登録されません。 | 注1) 文書名の頭はかならず英文字にすること。<br>注2) 文書名は最大8文字までの英数字です。 |
| **4 パスワード入力**<br>「パスワード」とは，登録した文書の秘密を守るための“合い言葉”です。(ここでは，“PASS” とします。)<br>①右の画面が出たら，P A S S と入力します。<br>② RETURN<br>注）特に秘密にする必要のない文書ならば，何も入力しないで RETURN。 | パスワード PASS□ |
| **5 メインメニューの表示**<br>文書登録の処理が終りますと，画面はメインメニューの表示に戻ります。<br>※いったん登録した文書を呼び出し，修正後，「2.新しい文書名で登録」を選んで，異なる文書名で登録した場合一最初に登録してある文書は削除（39ページ参照）しないかぎり，元のまま残ります。 | 漢熟トマト<br>1 新規作成<br>2 文書修正<br>3 文書印刷<br>4 文書削除<br>5 終　了<br>△▽で選んでRETURN<br>(C)1985, Sony |

## 文書修正

文書ディスクに登録された文書を呼び出し，内容を修正することができます。

| 1 メインメニューの選択 | |
|---|---|
| 起動（スタート）時，あるいは文書登録後，画面にメインメニューが表示されているとき行います。<br>①[△][▽]あるいは数字で“2．文書修正”を選択します。<br>②[RETURN] | 漢熟トマト<br>1 新規作成<br>[2] 文書修正<br>3 文書印刷<br>4 文書削除<br>5 終　了<br>[△][▽]で選んで[RETURN]<br>(C)1985, Sony |
| **2 文書の選択** | |
| 文書名の画面が表示されます。<br>①[△][▽]で修正する文書名を選択します。<br>②[RETURN]<br>③パスワードを要求してきますので，ある場合は入力します。<br>注）登録文書が多くて，修正する文書名が画面上にない場合，引き続き[▽]を押すと，次の文書名がでてきます。 | 修正する文書は<br>□MSX1<br>▽MSX2<br>▽MSX3<br>▽MSX4<br>▽MSX5<br>▽MSX6<br>[△][▽]で選んで[RETURN]<br>パスワード　PASS |
| **3 プログラムディスクのセット** | |
| 右の画面が表示されます。<br>①使用中ランプが消えたらEJECTボタンを押し，文書ディスクを取り出します。<br>②プログラムディスクをセットし[RETURN] | プログラムディスクを<br>セットして[RETURN]<br><br>注）2ドライブの機器ではこのメッセージは出ません。 |

## 4 文書呼び出し

しばらくすると，文書が表示されます。

文書の修正を行います。

(文字の削除・挿入については31ページを，また文書の登録については33ページを参照。)

注）誤ったパスワードが入力されていると，おかしな表示が現われます。上の手順に従って再度文書を読み込んでください。

# 文書の印刷（1）

<table>
<tr><td>

**1　プリンターのセット**

①プリンターに紙をセットします。
②印字可能状態(READY)にします。
(プリンターのセット方法はプリンター添付の説明書を参照)。

</td><td></td></tr>
<tr><td>

**2　プリンター，紙などの選択**

文書を入力し，修正が済んだら［F3］(印刷）を押します。
右の画面が表示されます。
①［△］［▽］でプリンターの項目にカーソルを合わせます。
②［◁］［▷］を押し，ご使用のプリンターの機種を表示させます。
③上と同様にして，“紙”以下の項目も設定します。
④処理を選択したら，［F3］を押します。

</td><td>

書式設定<br>
プリンター：PRN-T24 漢付<br>
紙　　：A4<br>
1行文字数：35<br>
1頁行数：40<br>
文字間隔：やや狭<br>
縦書／横書：横書<br>
印刷部数：　1<br>
印刷開始頁：　1<br>
△▽◁▷でセットして　F3

注）MSXワープロで使用可能な紙<br>
1. A4　2. B5　3. 連続紙<br>
4. その他（IV章参照）

</td></tr>
<tr><td>

**3　印刷開始**

右の画面が表示されます。
①［RETURN］を押します。

右の画面に変わります。
②印刷が開始されます。
③印刷を中止する時は，［STOP］を押します。
④印刷が終了すると文章を表示している画面にもどります。

</td><td>

文書印刷<br>
印刷　＝［RETURN］

［印刷中］<br>
中止＝STOP

</td></tr>
</table>

# 文書の印刷（2）

| 手順 | 画面 |
| --- | --- |
| **1 メインメニューから印刷を選択**<br>起動（スタート）時あるいは文書登録後，画面にメインメニューが表示されている時に印刷を行うことができます。<br>△▽あるいは数字で“3.文書印刷”を選択し，RETURNキーを押してください。 | 漢熟トマト<br>1 新規作成<br>2 文書修正<br>3 文書印刷<br>4 文書削除<br>5 終　　了<br>△▽で選んでRETURN<br>(C)1985, Sony |
| **2 文書の選択**<br>印刷する文書名を△▽で選んでRETURNキーを押してください。<br>パスワードがあれば，続いて入力します。 | 印刷する文書は<br>□MSX1<br>▽MSX2<br>▽MSX3<br>▽MSX4<br>▽MSX5<br>▽MSX6<br>△▽で選んでRETURN |
| **3 プログラムディスクをセット**<br>しばらくすると右の画面が表示されます。<br>①使用中ランプが消えたらEJECTボタンを押し，文書ディスクを取り出します。<br>②プログラムディスクを差し込みRETURNキーを押してください。 | プログラムディスクを<br>セットしてRETURN<br>注）2ドライブある場合はこのメッセージは出ません。 |
| **4 書式設定**<br>書式設定の画面が表示されます。以下の作業は前頁2以降と同様に行ってください。 | 書式設定<br>プリンター：PRN-T24 漢付<br>紙　：A4<br>1行文字数：35<br>1 頁 行 数：40<br>文 字 間 隔：やや狭<br>縦書／横書：横書<br>印 刷 部 数：　1<br>印刷開始頁：　1<br>△▽◁▷でセットして　F3 |

## 文書削除

文書ディスクに登録した文書を抹消することができます。

| | |
|---|---|
| **1 メインメニューの呼び出し**<br>起動（スタート）時，あるいは文書登録後，画面にメインメニューが表示されている時，行います。<br>①[△][▽]あるいは数字で“4.文書削除”を選びます。<br>②[RETURN] | 漢熟トマト<br>1 新規作成<br>2 文書修正<br>3 文書印刷<br>[4]文書削除<br>5 終　　了<br>[△][▽]で選んで[RETURN]<br>(C)1985, Sony |
| **2 文書の選択**<br>文書名の画面が表示されます。<br>①[△][▽]で削除したい文書名を選択できます。<br>②[RETURN]<br>注）文書削除の際，文書名を選択し，[RETURN]を押すと，すぐに削除されてしまうので，文書名を選択する時は十分注意してください。 | 削除する文書は<br>□MSX1<br>▽MSX2<br>▽MSX3<br>▽MSX4<br>▽MSX5<br>▽MSX6<br>[△][▽]で選んで[RETURN] |
| **3 メインメニューの表示**<br>削除された文書はディスク上から完全に削除され，画面はメインメニューの表示に戻ります。 | 漢熟トマト<br>1 新規作成<br>2 文書修正<br>3 文書印刷<br>4 文書削除<br>5 終　　了<br>[△][▽]で選んで[RETURN]<br>(C)1985, Sony |

## 終了

| 手順 | 画面 |
|---|---|
| **1 終了キーON**<br>①[F4]（終了）を押します。<br>　右の画面が表示されます。<br>②[RETURN] | 終了メニューに行きます<br>よろしければ[RETURN] |
| **2 処理の選択**<br>①文書ディスクをセットし，[RETURN]<br>②右の画面が表示されていますので33ページの方法に従って処理を選択します。<br>③[RETURN] | 文書名：MSX1<br>1 このまま登録<br>2 新しい文書名で登録<br>3 登録しない。<br>[△][▽]で選んで[RETURN] |
| **3 メインメニューの選択**<br>しばらくするとメインメニューが表示されます。<br>①[△][▽]あるいは数字で“5.終了”を選択します。<br>②[RETURN] | 漢熟トマト<br>1 新規作成<br>2 文書修正<br>3 文書印刷<br>4 文書削除<br>[5] 終　了<br>[△][▽]で選んで[RETURN]<br>(C)1985, Sony |
| **4 終了**<br>右の画面が表示されたら，終了です。<br>①使用中ランプが消えたら，フロッピーディスクを取り出します。<br>②次の順序で電源を切ります。<br>　1.コンピューター<br>　2.モニターテレビ<br>　3.プリンター<br>　4.ディスクドライブ<br>ただし，この画面上で[STOP]を押すと，メインメニューに戻ります。 | おつかれさまでした<br>ディスクは大切に<br>保存して下さい |

これで基礎編は終わりです。次の「活用編」では，「ワープロ」らしい，いろいろな便利機能が出てきますよ。

# III章　ミニ・レッスン(2)
# 一活用編

ここでは，MSXワープロのさまざまな機能を使って下に示す「招待状」を作ってみましょう。

招待状

Surprise Party in April

時　４月１日
場所　ＭＳＸ少年宅

来たるエイプリルフール、僕の彼女の17回目のバースデーパーティーを開きます。友だちをさそって来てください。ただし、彼女にだけは絶対に内緒。当日びっくりさせたいので！

連絡は　ＭＳＸ少年宅　港区港町１－２－３
TEL　（１２３）４５６７

上の例で，字の大きさを変えたり，下線を引いたりするには，ファンクションキー（62ページ参照）を使います。
画面下の５つの表示は F1 ～ F5 のファンクションキーに対応しています。

| F1 | F2 | F3 | F4 | F5 |
|---|---|---|---|---|
| その他 | かな/ローマ | 印刷 | 終了 | レイアウト |
| ↓ | 半角 | 倍角 | 下線 | カタカナ |
| | スクロール | 改ページ | 中寄 | 右寄 |
| | 左寄 | | | 検索 |
| | 移動 | 複写 | 行削 | 行あけ |
| | 結合 | 書式 | 語削 | 語録 |
| | 字作 | 字選 | マーク | 16進 |

① F1 （その他）を押します。

②［F2］～［F5］の対応する処理が矢印↓方向に変わります。

　また，［SHIFT］を押しながら［F1］を押すと↓と逆方向に変わります。

③最後までいくと，再び最初の処理の表示に戻ります。

**1** 倍角（文字の横幅を2倍にします。）

①「招待状」と入力したら，F1 で 倍角 の表示を画面に出します。

②カーソルを動かし，倍角にする文字を変換対象にします。
（カーソルキーで左から右へ対象にしたいところをなぞるようにカーソルを動かします。）

③ F3 （倍角）を押します。

④ RETURN

**2** 中寄（文字を行の中央に配置させます。）

① F1 で 中寄 の表示を画面に出します。

②カーソルを中寄にしたい行に動かします。

③ F4 （中寄）を押します。

④ RETURN

**3** 半角（英数字にのみ可能です。1マスに２文字入ります。）

①「Surprise Party in April」と入力したら，F1 で 半角 の表示を画面に出します。
②カーソルを動かし，半角にする文字を変換対象にします。
③ F2 （半角）を押します。
④ RETURN



**4** 右寄（文字を右端に配置させます。）

① F1 で 右寄 の表示を画面に出します。
②カーソルを右寄にしたい行に動かします。
③ F5 （右寄）を押します。
④ RETURN

**5** 下線（アンダーラインを引きます）。

①「絶対に内緒」まで入力したら，［F1］で［下線］の表示を画面に出します。



②カーソルを動かし，下線を引きたい文字を変換対象にします。



③［F4］（下線）を押します。
⑤［RETURN］



**6** 複写（文章を他の場所へコピーします。）

①［F1］で［複写］の表示を画面に出します。



②［F3］（複写）を押します。
右の画面が表示されます。



③カーソルを動かし，複写する文字を変換対象にします。
注）最初に③を行うと，②の画面は出ず，②の処理の後，⑤に行くことができます。



④［RETURN］
⑤右の画面が表示されます。



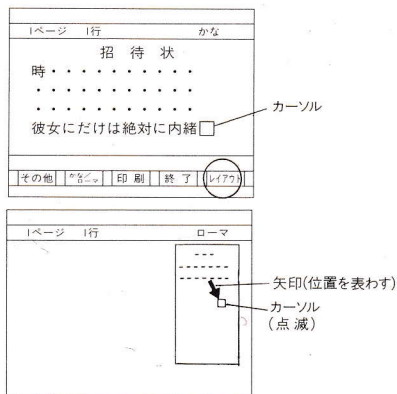
⑥文章を複写したい場所の先頭にカーソルを移します。



⑦［RETURN］

## 7 レイアウト（打った文章の紙面上の位置，配置の検討）

①［F1］で［レイアウト］の表示を画面に出します。

②［F5］（レイアウト）を押します。
③画面の右側にレイアウトが表示されます。
④文字の配列，位置は点で示されます。
⑤矢印が示している点が，カーソルの現在位置です。
　注）何かキーを押すと，もとの画面に戻ります。

# Ⅳ章　これだけは覚えよう
# ―書式設定

# 書式設定とは？

これまでの章では，入力や登録，呼出や修正といったことについて主に説明してきましたが，この章では入力済みの文章を実際にプリンターを使って印刷するときに必要な**「書式設定」**について説明します。

何か文章を書こうと思ったら，まず何を用意したら良いでしょうか？
もちろん，筆記用具と紙があればいいですね。
でも，一口に筆記具といっても，鉛筆からボールペン，サインペン，チョークといろいろあるし，紙だって，大きさやマス目の数によって選ばなくてはいけません。

**「書式設定」**とは，簡単にいうと，使う筆記具と用紙の大きさ，マス目の数などをコンピューターに教えるということです。

# 設定する項目

この「ワープロ」では，次のような項目について，コンピューターに教える必要があります。

1. プリンターの種類……筆記具を選びます
2. 紙の大きさ
3. 1行の文字数
4. 1ページに入る行数
5. 文字間隔
6. 縦書か横書か

（2.～6.）……原稿用紙を選びます

7. 何部書くか
8. 原稿のどこから書き始めるか

以上の8項目について，その設定のしかたについて説明します。

# 設定のしかた

まず，カーソルキーの[△]または[▽]方向で，設定したい項目までカーソルを移動させてください。

**1. プリンター**

ご使用のプリンターの機種をカーソルキーの[◁]または[▷]方向で設定します。使用できるプリンターの種類は以下の通りです。

ソニーPRN-T24（漢字ROMつき）

ソニーPRN-T24（漢字ROMなし）

ソニーSMI-720

ソニーPRN-C41（漢字ROM PRN-K41要）

ブラザーHR-5X/6X

エプソンRP-80（ESC/P）（ESC/P規格対応）

その他上記同仕様のプリンター

[ご注意] PRN-C41を使用するときは

1. 下線，けい線，16進コード××20，××7F，2820～287Fの文字および外字の印刷はできません。
2. 倍角文字を印刷する場合，改行幅によっては前行と次行の文字が重なって印刷されることがあります。

## 2. 紙

使用する紙のサイズをカーソルキーの[◁]または[▷]方向で設定します。使用できる紙のサイズとそれぞれの印字可能な範囲は，以下の通りです。

| 用紙＼サイズ | 規定サイズ<br>横×縦(インチ) | 印字可能範囲<br>横×縦(インチ) |
|---|---|---|
| A4 | 8.3×11.7<br>〔211×297mm〕 | 7×10.5<br>〔178×267mm〕 |
| B5 | 7.2×10.1<br>〔183×257mm〕 | 5.83×9<br>〔148×229mm〕 |
| 連続紙 | 10×11<br>〔254×279mm〕 | 8×11<br>〔203×279mm〕 |
| その他 | —— | 印字ヘッドの動く範囲で無制限 |

1インチ＝25.4mm

[ご注意] A4，B5は単票として扱っていますので，プリンターのペーパーエンド検出位置により，印字可能範囲が狭くなることがあります。

## 3. 1行文字数

設定したい文字数をカーソルキーの[◁]または[▷]方向で表示させるか，直接数値を入力して[RETURN]キーを押して設定します。

ここで考えておかなくてはならないのは，用紙のサイズです。

次ページの表を参照して，1行あたりの文字数を設定してください。

1行あたりの最大文字数

| プリンター | 用　紙<br>サイズ | 文字間隔 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 狭い | やや狭 | 普通 | 広い |
| PRN-T24(漢付)<br>SMI-720<br>HR-6X<br>RP-80(ESC/P)<br>PRN-C41 | A4 | 51 | 46 | 42 | 35 |
| | B5 | 42 | 38 | 35 | 29 |
| | 連続紙 | 58 | 52 | 47 | 39 |
| PRN-T24(漢無)<br>HR-5X | A4 | 38 | 35 | 32 | 26 |
| | B5 | 32 | 30 | 27 | 22 |
| | 連続紙 | 44 | 39 | 35 | 30 |

ご注意 1行文字数はプリンターの種類および文字間隔によって変わります。
くわしくは，「5. 文字間隔」をごらんください。ただし“その他”の場合は、文字間隔に関係なく10～99まで可能です。

**4.　1頁行数**

設定したい行数をカーソルキーの◁または▷方向で表示させるか，直接数値を入力して RETURN キーを押して設定します。

この設定は，単に行数を決めるだけでなく，行間隔も指定します。つまり，この数字が小さいと，行と行の間隔は広くなり，逆に大きいと狭くなります。

用紙のサイズと1頁行数，改行幅の関係は，下の表の通りです。

例：PRN-T24（漢付）の場合，A4サイズで1頁行数を21～32に設定すると，

1/3インチ改行になります。

| プリンター | 用紙サイズ | 改行幅（インチ） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1/2 | 1/3 | 1/4 | 1/5 | 1/6 |
| PRN-T24(漢付)<br>PRN-C41 | A4 | 20 | 32 | 40 | 54 | 63 |
| | B5 | 17 | 28 | 34 | 45 | 54 |
| | 連続 | 21 | 32 | 43 | 54 | 65 |
| PRN-T24(漢無) | A4 | 20 | 32 | 40 | 52 | 63 |
| | B5 | 17 | 28 | 34 | 45 | 54 |
| | 連続 | 20 | 32 | 43 | 54 | 65 |
| SMI-720 | A4 | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 |
| | B5 | 17 | 26 | 34 | 44 | 52 |
| | 連続 | 21 | 32 | 43 | 54 | 65 |
| HR-5X | A4 | 20 | 30 | 40 | 49 | 58 |
| | B5 | 17 | 25 | 33 | 42 | 49 |
| | 連続 | 21 | 32 | 43 | 54 | 65 |
| HR-6X | A4 | 20 | 30 | 40 | 49 | 58 |
| | B5 | 17 | 25 | 33 | 42 | 49 |
| | 連続 | 21 | 32 | 43 | 54 | 65 |
| RP-80(ESC/P) | A4 | 20 | 32 | 40 | 54 | 63 |
| | B5 | 17 | 28 | 34 | 45 | 54 |
| | 連続 | 21 | 32 | 43 | 54 | 65 |

ご注意 1.　1頁あたりの行数と，1行あたりの文字数や文字間隔とは無関係です。

2. はがきまたはB5サイズより小さい紙に印刷するときは,1行文字数や1頁行数をその用紙に合った数値に設定してください。

3. “その他”ではPRN-T24（漢付）やPRN-C41の「連続」と同じです。

4. 用紙サイズが“その他”の場合，1頁の行数が70行を越えると，レイアウト表示はできなくなります。

### 5. 文字間隔

設定したい文字間隔をカーソルキーの[◁]または[▷]方向で設定します。

この設定は，「2. 紙」で設定した用紙サイズと「3. 1行文字数」での数値と関係があります。下の表を参照して，設定してください。

| 文字幅指定 | 広い | 普通 | やや狭 | 狭い |
|---|---|---|---|---|
| 文 字 間 隔 | 1文字幅の<br>1/2 | 1文字幅の<br>1/4 | 1文字幅の<br>1/8 | 0 |

### 6. 縦書/横書

設定したいほうをカーソルキーの[◁]または[▷]方向で設定します。

[ご注意] 半角文字は縦書を指定しても横書になります。

### 7. 印刷部数

設定したい部数（1から99まで）をカーソルキーの[◁]または[▷]方向で表示させるか，直接数値を入力して[RETURN]キーを押して設定します。

A4, B5を設定して，1部で複数ページまたは2部以上設定したときは，1ページを印刷し終えるとプリンターが停止しますので，紙を入れ換えて，もう一度[RETURN]キーを押してください。印刷を続行します。

8.　印刷開始頁

設定したい開始ページ（1から99まで）をカーソルキーの ◁ または ▷ 方向で表示させるか，直接数値を入力して RETURN キーを押して設定します。

## 設定が終わったら

F3 キーを押します。これで設定されました。

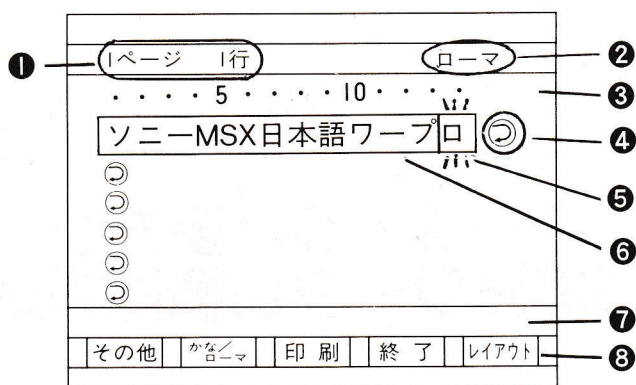
設定した書式は，文書をディスクに登録するときにいっしょに登録されます。

（これらの設定値は，次に変更されるまで有効です。）

ご注意 変更についても，同じ方法で行ってください。
ただし，1項目のみ変更したときでも，それに関連して他の項目も変わることがあります。変更したときは，F3 キーを押す前にもう一度すべての項目を確かめてください。

# Ⅴ章　こんなふうに使おう
# ー日本語ワープロ機能詳細

# 画面の構成

文書作成中の画面が何を表わすのか説明しましょう。

(画面はMSXモード)

❶いまカーソル❺があるページと行

❷かな／ローマ字入力の表示

ここが「かな」ならば,「かな入力モード」を,「ローマ」ならば,「ローマ字入力モード」であることを示します。

❸各行の先頭から数えた文字数

1行が15文字(MSX$_2$では31文字)以上に指定されているときは,15文字(MSX$_2$では31文字)以降は,画面上では次の行に表示されます。(スクロール(79ページ参照)の機能が働いているときを除く。)

❹改行マーク

入力していくと,右に移動します。行末であることを示します。

❺カーソル

文字キーを押すと，この位置に文字が表示されます。

❻変換対象

かなを漢字に変換したり，文字を半角・倍角にしたり，移動や複写させるときの対象を指定します。対象を消したいときは，カーソルを上・下・左のいずれかに動かしてください。

❼メッセージ表示

16進コードを入力したり，その他のメッセージが表示されますので，それに従って操作してください。

❽ファンクションキーの内容表示

5つの表示は，[F1]から[F5]までのファンクションキーに対応しています。それぞれの機能を実行するのに使います。[F1]の[その他]は，表示されていない機能を表示させるとき押します。(42ページ，62ページ参照)

# ファンクションキー以外のキーの一覧表

| キー | 機能 |
| --- | --- |
| スペース | 〈変換対象〉がある場合は変換、ない場合はスペースの入力 |
| SHIFT ＋ スペース | 現在変換中の部分を確定し，残りの部分を変換 |
| RETURN | 〈変換対象〉がある場合は確定，ない場合は改行 |
| SHIFT ＋ RETURN | 行を2分する（行間あけ） |
| ESC | 〈変換対象〉を1文字減らす |
| SHIFT ＋ ESC | 漢字変換中に変換を中止する（かなに戻す） |
| HOME | 1ページ1行目の先頭に行く |
| SHIFT ＋ HOME | 入力されている文の終わりに行く |
| SELECT | 漢字変換中に，該当する漢字が通り過ぎてしまった場合，１字ずつ戻る |
| STOP | 現在実行中の作業を中止する |
| SHIFT ＋ DEL | カーソルがある位置から改行マークまでを削除する。カーソルが改行マーク上にあるときは，行の併合 |

| キー | 機　能 |
| --- | --- |
| [TAB] | カーソルを現在位置から4文字分右へ移動する |
| [GRAPH] ＋[△] [▽] [△] [▷] | けい線を引く |
| [SHIFT] ＋[△][▽] | 画面表示を1画面単位で移動する |

・以下のキーの組合せにより，画面の色を変えることができます。

| キー | MSX1表示モード | MSX2表示モード |
| --- | --- | --- |
| [CTRL] ＋[A] | 確定文字の色 | バックの色 |
| [CTRL] ＋[B] | 変換対象の文字の色 | 変換対象の文字の色 |
| [CTRL] ＋[C] | 変換中の文字の色 | 確定文字の色 |
| [CTRL] ＋[D] | バックの色 | ファンクションキー定義などの文字の色 |
| [CTRL] ＋[E] | 変換対象文字のバックの色 | |
| [CTRL] ＋[F] | 変換中の文字のバックの色 | |

変更した画面の色は，書式設定の画面に[CTRL] ＋[S]を押すとディスクにセーブされ，次に漢熟トマトを起動したときにその色に設定されるようになります。

[ご注意] 変換中の文字があるときに上記のキーを押すと，その文字は確定します。

# ファンクションキーによる機能

## その他　ファンクションキー(F2～F5)の表示を変えたいとき

〔機能〕このキーを押すごとに，26種類のファンクションのうち4種類ずつが表示されます。

〔操作方法〕

1.

| F1 | F2 | F3 | F4 | F5 | |
|---|---|---|---|---|---|
| その他 | かな／ローマ | 印刷 | 終了 | レイアウト | パターン1 |
| その他 | 半角 | 倍角 | 下線 | カタカナ | パターン2 |
| その他 | スクロール | 改ページ | 中寄 | 右寄 | パターン3 |
| その他 | 左寄 | | | 検索 | パターン4 |
| その他 | 移動 | 複写 | 行削 | 行あけ | パターン5 |
| その他 | 結合 | 書式 | 語削 | 語録 | パターン6 |
| その他 | 字作 | 字選 | マーク | 16進 | パターン7 |

F1 キー（その他）を押すと，画面上のファンクションキーの表示が7種類（パターン1からパターン7まで，全部で26種類のファンクション）に変化します。

2. 自分の希望のファンクションが表示されたら，その対応するキーを押して，そのファンクションの操作を行ってください。

・行き過ぎてしまってもあわてないでください。F1 を SHIFT といっしょに押すと，逆方向に変化します。
・ファンクションキーを押す前に自分の行いたい作業の表示が出ているかどうかを確かめてからキーを押しましょう。

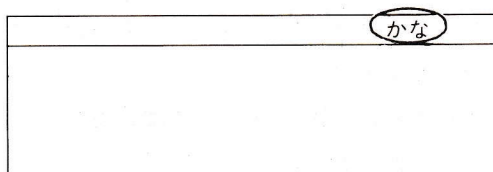
## かな／ローマ　かなモードとローマ字モードを切り換えたいとき

〔機能〕かな入力モードとローマ字入力モードを切り換えます。

〔操作方法〕

**ひらがなを表示したいとき**

★かなモードを使って入力

①

F2 ：かな／ローマを押して，かなモードにします。

画面右上の表示が「**かな**」になっていることを確認します。

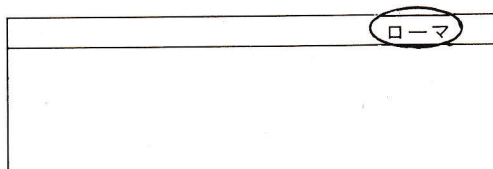
②キーボードの かな キーを押します。赤ランプがついたことを確認してください。

このとき，CAP キーが押されていないことも同時に確認してください。

③キーボードのひらがなキーを使って入力します。

④画面には，ひらがなが表示されます。

★ローマ字モードを使って入力

①

F2 ：かな／ローマを押して，ローマ字モードにします。

画面右上の表示が「**ローマ**」になっていることを確認します。

②キーボードの かな キーを押します。赤ランプがついたことを確認してください。

このとき，[CAP]キーが押されていないことも同時に確認してください。

③キーボードのローマ字キーを使って入力します。

④画面には，ひらがなが表示されます。

**カタカナを表示したいとき**

★かなモード，ローマ字モードのどちらでも，好きな方を使って入力

①[かな]キーと，[CAP]キーを押します。赤ランプがついたことを確認してください。

②かなモード入力の場合は，キーボードのひらがなキーを，ローマ字モード入力の場合は，キーボードのローマ字キーを使って入力します。

③画面には，カタカナが表示されます。

**英字を表示したいとき**

①[かな]キーも[CAP]キーも押しません。赤ランプがついていないことを確認してください。

ただし，英字の大文字を表示させる場合は[CAP]キーを押します。

②通常のローマ字を入力する要領で操作してください。

③画面には，英字が表示されます。

**数字を表示したいとき**

①**かなモード入力をしている場合は，**[かな]キーも[CAP]キーも赤ランプが消えた状態に戻します。

**ローマ字モード入力をしている場合は，**そのままの状態で続けます。

②キーボードの数字キーを使って入力します。

③画面には数字が表示されます。

## モードとかな・CAPキーとの関係

| モード | [かな]キー<br>押す＝○(点灯)<br>押さない＝×<br>(消灯) | [CAP]キー<br>押す＝○(点灯)<br>押さない＝×<br>(消灯) | キーボードの使用キー | 画面に表示される文字 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| かなモード | ○ | × | ひらがなキー | ひらがな |
| | ○ | ○ | ひらがなキー | カタカナ |
| | × | ○ | ローマ字キー | 英字<br>大文字 |
| | × | × | ローマ字キー | 英字<br>小文字 |
| ローマ字モード | ○ | × | ローマ字キー | ひらがな |
| | ○ | ○ | ローマ字キー | カタカナ |
| | × | ○ | ローマ字キー | 英字<br>大文字 |
| | × | × | ローマ字キー | 英字<br>小文字 |

## 印刷　印刷したいとき

〔機能〕 登録しないで印刷することができます。登録をする前に確認したいとき，あるいは登録する必要はないが印刷だけしたいときなどに使うと便利です。

〔操作方法〕

1. 印刷したい文書を画面に表示します。
2. [F3]：印刷を押します。
3. 

書式設定
プリンター：PRN-T24 漢付
紙　　　　：A4
1行文字数：35
1頁行数：40
文字間隔：やや狭
縦書／横書：横書
印刷部数：　1
印刷開始頁：　1
[△][▽][◁][▷]でセットしてF3

書式設定の画面が表示されますので確認して設定してください。

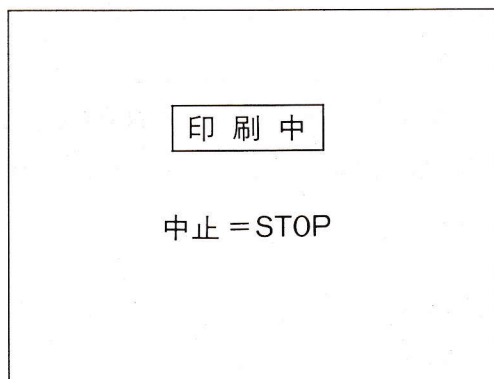
4. セットが終了したら，[F3]を押します。

文書印刷

印刷＝[RETURN]

上の画面になります。

5. [RETURN]キーを押します。

6.

画面が変わり，印刷が始まります。

中止するときは STOP を押します。

印刷が終了すると，文章入力・編集の画面に戻ります。

## 終了　作業を終わりたいとき

〔機能〕作業を終了します。

〔操作方法〕

1. [F4]：終了を押します。

2.

```
終了メニューに行きます
よろしければ[RETURN]
```

画面下にメッセージが出ます。よろしければ[RETURN]キーを押してください。

3.

```
文書ディスクを
    セットして[RETURN]
```

ディスクドライブの使用中ランプが消えたのを確かめてから、ボタンを押してプログラムディスクをぬきとり、文書ディスクを入れ、[RETURN]キーを押します。

ディスクドライブが2台ある場合は，このメッセージは出ません。

4.

```
文書名：TEST1

  1.このまま登録
  2.新しい文書名で登録
  3.登録しない

[△][▽]で選んで[RETURN]
```

あてはまる項目を，カーソルキーの[△]または[▽]で選んで[RETURN]キーを押してください。

★そのまま登録する場合

⇨1を選んで[RETURN]キーを押します。続いて，（もしあれば）パスワードを入力し，[RETURN]キーを押します。終了後は，メインメニューに戻ります。

★新しい文書名で登録する場合

⇨2を選んで[RETURN]キーを押します。"新しい文書名を入れて[RETURN]キー"という表示が出たら，新しい文書名を入力してください。ただし，**英数字で8文字以内（英字が先頭）**に限ります。続いて，（もしあれば）パスワードを入力し，[RETURN]キーを押します。終了後は，メインメニューに戻ります。

★登録しない場合

⇨3を選んで[RETURN]キーを押します。登録はされずに，メインメニューに戻ります。

## レイアウト　ページ全体のレイアウトを見るとき

〔機能〕 ページ全体の文字の配列状態や，簡単な表などのレイアウトを見ることができます。また，入力中に見る場合は，今どのへんを入力しているか，現在位置を知ることができます。実際に文字は表示されませんが，全体の流れや余白の量が一目でわかります。

プリンターで打ち出す前に，一度見ることをお勧めします。

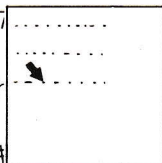
〔操作方法〕

1.

画面左上のページ表示を，レイアウトを見たいページに合わせ F5 ：レイアウトを押します。

2.

画面右にレイアウトが表示されます。

さらに，レイアウト内に矢印が出ます。これは，現時点でのカーソルの位置を示しています。

| 1ページ　3行 |
| --- |
| 1 2 3 4 5　6 7 8 9 10<br><br>a b c d e f g h i j k l<br><br>あいうえお　カキクケコ ⏎ |
| |

元の画面に戻るには，何かキーを押してください。

・ただし，ここでは入力中（または入力済み）のページのレイアウトを見ることはできますが，レイアウトを見ながら入力などの作業はできません。

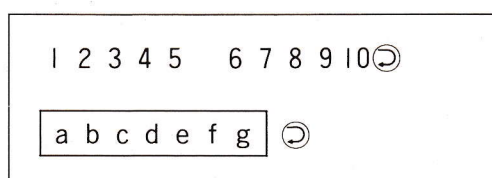
・文章中にけい線が入っている場合は，けい線もいっしょに表示されます。

[ご注意] 1頁の行数が70を越えた場合は，この機能は使用できません。

## 半角　文字の横幅を半分にしたいとき

〔機能〕文字の横幅を半分にして表示します。

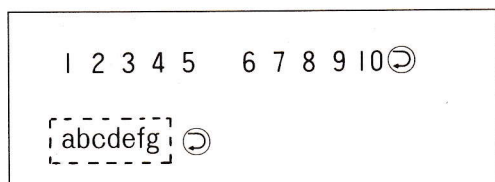
〔操作方法〕

1.

英字や数字などの，小さくしたい部分を，カーソルキーを動かして変換対象にします。

2. F2：半角を押します。

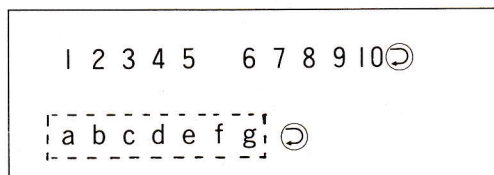
3.

1 2 3 4 5　6 7 8 9 10

abcdefg

文字はすべて半分の幅になり，文字間もつまります。

4.

1 2 3 4 5　6 7 8 9 10

a b c d e f g

元の大きさに戻したい場合は，もう1度変換対象にして，F2：半角を押します。

・半角にできるのは，普通の大きさの文字の64文字分で，英数字のみです。（固定モード（79ページ参照）のとき）

・下線（76ページ参照）つきの全角（ふつうの大きさ）文字を半角にすると下線が消えます。半角にしてから下線を引いてください。（下線つきの半角文

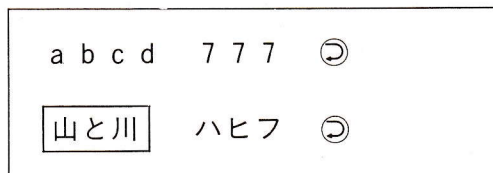
字を全角にするときも同じ。)

・半角文字は印刷時に縦書を指定しても横書で印刷されます。

## 倍角　文字の横幅を2倍にしたいとき

〔機能〕文字の横幅を2倍にして表示します。

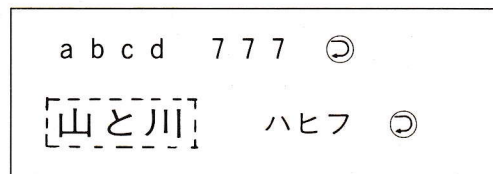
〔操作方法〕

1.

文字や文章などの，大きくしたい部分を，カーソルキーを動かして変換対象にします。

2. [F3]：倍角を押します。

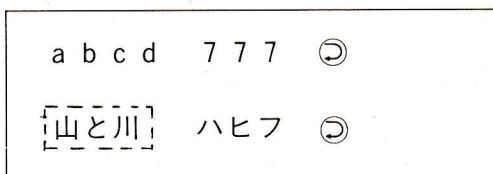
3.

a b c d　7 7 7

山と川　ハヒフ

文字はすべて2倍の幅になり後に続く文字は順にずれます。

4.

a b c d　7 7 7

山と川　ハヒフ

元の大きさに戻したい場合は，もう1度変換対象にして，[F3]：倍角を押します。

・普通の幅の文字64字分までを一度に倍角（64字分）にできますが，倍角の文字を普通の幅に戻すときは，一度に32文字分までしかできません。(固定モード（79ページ参照）のとき）

・PRN-C41を使用している場合，倍角文字は改行幅により文字が重なって印刷されることがあります。

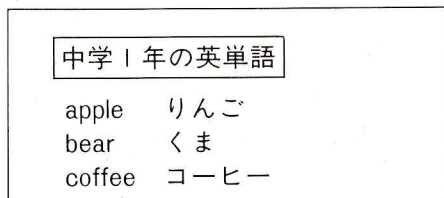
## 下線　下線（アンダーライン）を引くとき

〔機能〕文字や文章にアンダーラインを引くことができます。

〔操作方法〕

1.

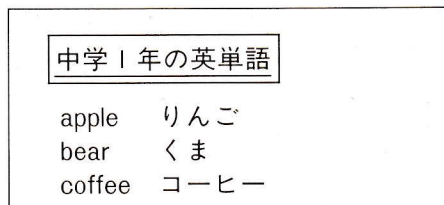
| 中学１年の英単語 |
|---|

apple　りんご
bear　くま
coffee　コーヒー

文字や文章，あるいはケイ線などを引きたい部分に，カーソルキーを動かして変換対象にします。

2. F4 ：下線を押します。

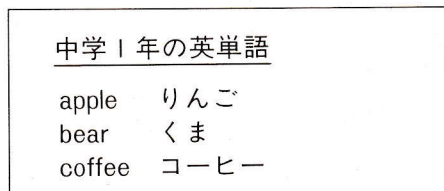
3.

| 中学１年の英単語 |
|---|

apple　りんご
bear　くま
coffee　コーヒー

アンダーラインは引けましたが，変換対象はそのままになっていますね。

4.

中学１年の英単語

apple　りんご
bear　くま
coffee　コーヒー

指定した位置にアンダーラインが引けているようでしたら，RETURN キーを押し，確定します。

**ラインを消したい場合は？**

消したい部分を変換対象にして， F4 ：下線を押します。

消えましたら， RETURN キーを押し，確定してください。

・一度に下線が引けるのは最大64文字分までです。(固定モード(79ページ参照) のとき)

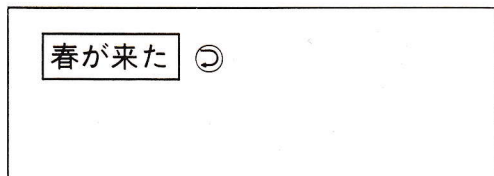
・PRN-C41の場合，下線の印字はできません。

## カタカナ　カタカナに変えたいとき

〔機能〕ひらがなで入力した文字をカタカナに変えます。

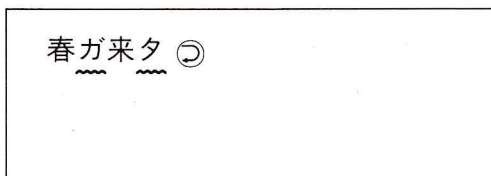
〔操作方法〕

1.

春が来た

文字や文章などの，カタカナにしたい部分をカーソルキーを動かして変換対象にします。

2. F5 ：カタカナを押します。

3.

春ガ来タ

指定した部分のひらがなのみがカタカナになります。

続けてもう一度 F5 ：カタカナを押すと，ひらがなに戻ります。

・ひらがなを一度にカタカナに直したいときはもちろん，カタカナを一度にひらがなにしたいときも，この方法を応用すると便利です。

## スクロール　画面の固定モードと横スクロールモードを切り換えたいとき

〔機能〕 画面の横スクロールモードと固定モードを切り換えます。

通常の画面は，**固定モード**といって，文字数が14文字（$MSX_2$では30文字）を越えた部分は順に2行目，3行目へと送られて，画面に表示されます。それに対して，**横スクロールモード**とは，文字数が14文字（$MSX_2$では30文字）を越えた部分は，画面には表示されず，カーソルキーを動かしていくことにより画面が右にずれていき，15文字（$MSX_2$では30文字）以降の部分が現われてくるものです。

〔操作方法〕（MSXモード〈14文字〉のとき）

1.

```
 I・・・5・・・・・10・・・・
SONY　MSXワープロは、
カンタンにきれいな手紙がかけ・
るあなたの強い味方です。⏎
```

通常は固定モードですので，上のような画面で表示されます。

2. [F2]：スクロールを押します。

3.

```
I・・・5・・・・・10・・・・
SONY　MSXワープロは、
```

画面は上の様に変化します。

4.

```
15・・・・20・・・・25・・・
カンタンにきれいな手紙がかけ
```

画面を見ながら，カーソルキーを右に動かしていってください。

14文字（$MSX_2$では30文字）以降の部分が，次々と表示されます。

・横スクロールモードにしているとき，変換対象が画面から外に消えた場合は，その部分は対象とみなされません。
その場合は，一度固定モードにして，対象を画面から出ないようにしておいてください。
・1行文字数が14文字（$MSX_2$では30文字）以内の場合は，横スクロールモードとして扱います。
そのため，漢字変換や倍角，半角などの変換対象となる文字数は固定モードの場合よりも少なくなります。
・この機能は，けい線を引いて表などを作成するときに使うと便利です。

## 改ページ　ページを変えたいとき

〔機能〕　カーソルがある位置よりあとの文章を次のページに移動します。

〔操作方法〕

I　単に画面表示されるページを変えたいとき

1.

| 1ページ　2行 | ローマ |
|---|---|

＊MoMokoのダイアリー＊

文字や文章などを入力します。画面左上にページ数と行数が表示されます。

2. [F3]：改ページを押します。

3.

| 2ページ　1行 | ローマ |
|---|---|

S. 60. 4 .20.

改ページが行われ，ページは次ページに変わります。

[F3]を押し続ければ，何ページでも改ページできます。

II　文の途中からページを変えたいとき

1.

入力してしまった文字や文章の途中からページを変えたい場合は，まず，変えたい行の先頭にカーソルを合わせます。

2. [F3]：改ページを押します。

3.

| 2ページ　1行 | ローマ |
| --- | --- |

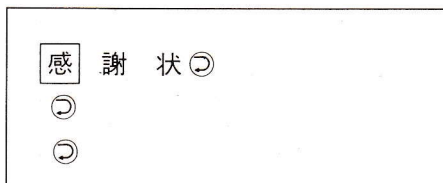
□　　　S. 60. 4 .20./はれ⏎
今日は、久しぶりにいい天気!
ウキウキ気分でした。⏎

指定した部分以降が，次のページへそっくり移ります。

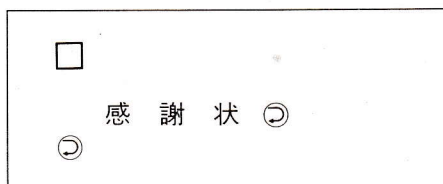
## 中寄　文字を中央に移したいとき（センタリング）

〔機能〕　文字や文を，行の中央に移すこと（＝センタリング）ができます。

〔操作方法〕

1.

中央に移したい文字や文章がある行にカーソルを合わせます。

2. F4 ：中寄を押します。

3.

指定した行の文字や文章は，中央に移りました。（センタリング完了）

4.

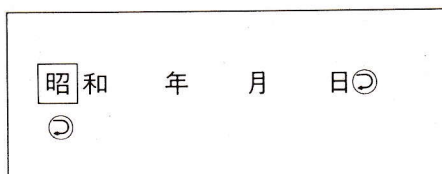
この時点で，確認もかねて，レイアウトを見るとよいでしょう！

・中央に移すのは，行単位です。行の途中からを中央に移すことはできません。

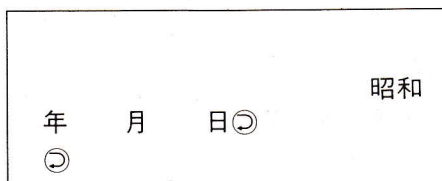
## 右寄　文字を右に寄せたいとき

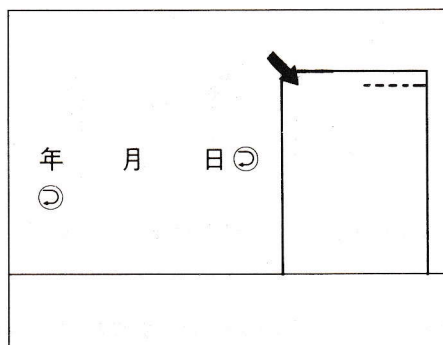
〔機能〕文字や文を，行の右端に移すことができます。

〔操作方法〕

1.

右に寄せたい文字や文章のある行にカーソルを合わせます。

2. F5 ：右寄を押します。

3.

指定した行の文字や文章は，右に移りました。

4.

中寄と同様に，確認もかねて，レイアウトを見るとよいでしょう！

・中寄の時と同様，右寄せできるのは行単位です。行の途中から右寄せすることはできません。

## 左寄　文字を左に寄せたいとき

〔機能〕文字や文を，行の左端に移すことができます。

〔操作方法〕

1.

左に寄せたい文字や文章のある行にカーソルを合わせます。

2. F2 ：左寄を押します。

3.

指定した行の文字や文章は，左に移りました。

4.

中寄と同様に，確認もかねて，レイアウトを見るとよいでしょう！

・左寄の時と同様，左寄せできるのは，行単位です。行の途中から左寄せすることはできません。

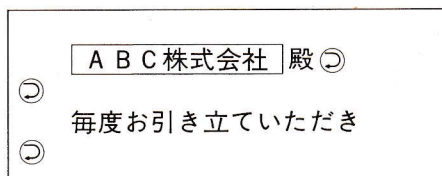
## 検索　文書中のある語句を見つけたいとき

〔機能〕文書中のある語句を探し出して表示します。

〔操作方法〕

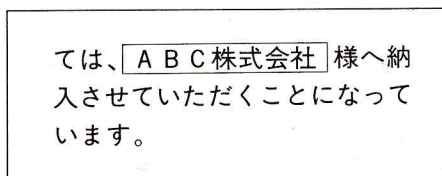
1.

ＡＢＣ株式会社 殿

毎度お引き立ていただき

検索したい語句をカーソルキーを動かして変換対象にします。

2. F5 ：検索を押します。

3.

ては、ＡＢＣ株式会社 様へ納
入させていただくことになって
います。

指定した語句を含んだ部分が画面に表示され，変換対象となります。

- さらに検索を続けたいときは，もう一度 F5 キーを押してください。
- 検索できる文字数は，(マークを含まない) 全角文字で64文字以内です。
- 指定した語句が見つからないときは“みつかりません”というメッセージが表示されます。
- 各ページの先頭にマーク (105ページ参照) をつけておき，マークを検索すると，カーソルキーで行送りしなくても次々にページを見ていくことができて便利です。
- 同じ文字でも，下線のあるものとないものとは別の文字として扱われます。

## 移動　文字や文章を移動させたいとき

〔機能〕文字や文章などを，他の箇所に移します。

〔操作方法〕

1. [F2]：移動を押します。

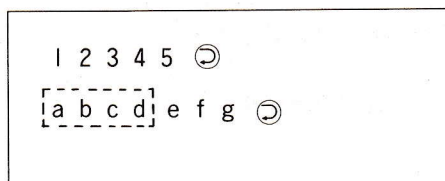
2.

“移動：どこを”という表示が出ますので，文字や文章などの，移動したい部分をカーソルキーを動かして変換対象にし，[RETURN]キーを押します。

3.

“移動：どこへ”という表示が出ますので，移動したいと思う箇所にカーソルを合わせ[RETURN]キーを押します。

4.

```
 1 2 3 4 5 ⏎
[a b c d] e f g ⏎
```

移動が行われ，元の文章の移動後の部分はつまります。

指定した箇所に間違いなく移動されているようでしたら，RETURN キーを押して，変換対象を確定します。

・ここでは，画面の範囲内で移動させましたが，実際は，何ページの何行目でも，移したい位置へカーソルを持って行けば，どこへでも移動可能です。長い文章を，別の箇所にそっくり移したいときなど，とても便利です。

・3.の操作で RETURN キーを押す前に，この機能を中止したいときは STOP キーを押します。

・1と2の操作を逆にして，先に変換対象を指定してから， F2 を押して移動させることもできます。

## 複写　文字や文章を複写したいとき

〔機能〕文字や文章などを，別の箇所へ複写することができます。

〔操作方法〕

1. F3 ：複写を押します。

2.

```
春が来た ⏎
⏎
⏎
⏎
⏎
⏎
─────────────
複写：どこを
```

"複写：どこを" という表示が出ますので，文字や文章などの複写したい部分をカーソルキーを動かして変換対象にし，RETURN キーを押します。

3.

```
春が来た ⏎
□
⏎
⏎
⏎
⏎
─────────────
複写：どこへ
```

"複写：どこへ"という表示が出ますので，複写したい箇所の先頭にカーソルを合わせ RETURN キーを押します。

4.

春が来た ⮐

| 春が来た ⮐ |

⮐

複写は行われましたが，変換対象はそのままになっていますね。

指定した箇所に間違いなく複写されているようでしたら，RETURN キーを押して，変換対象を確定します。

・複写の場合は，移動と違い複写される元の文章もそのまま残ります。

・移動と同様に1と2の操作を逆にして，変換対象を指定してから複写することもできます。

## 行削　文を削除したいとき・行間をつめたいとき

〔機能〕特定の文章を行単位で消すことができます。↔行あけ(92ページ参照)

〔操作方法〕

1.

```
春が来た ⏎
春が来た ⏎
[春]が来た ⏎
どこに来た ⏎
```

削除したい文章の行にカーソルを合わせます。

（文の先頭でなくてもよい）

2. [F4]：行削を押します。

3.

```
春が来た ⏎
春が来た ⏎
[ど]こに来た ⏎
```

指定した文章は削除され，行間は空白にならずにつまります。カーソルは次の行の先頭に移ります。

## 行あけ　行間をあけたいとき・空白行をつくりたいとき

〔機能〕 行と行の間などを，行単位であけることができます。↔行削(91ページ参照)

〔操作方法〕

1.

```
春が来た ⏎
春が来た ⏎
どこに来た ⏎
[山]に来た ⏎
```

行をあけたいと思う部分の１行下の文の先頭に,カーソルを合わせます。

2. F5 ：行あけを押します。

3.

```
春が来た ⏎
春が来た ⏎
どこに来た ⏎
⏎
山に来た ⏎
```

指定した箇所が１行あき，その後の文は１行ずつずれていきます。・

```
春が来た ⏎
春が来た ⏎
どこに来た ⏎
山に[来]た ⏎
```

操作1で，カーソルを合わせるときに，文の先頭でなく，途中に合わせて“行あけ”をすると，カーソルより後の部分はあきますが，前の部分はそのまま残りますので注意してください。

```
春が来た ⏎
春が来た ⏎
どこに来た ⏎
山に ⏎
来た ⏎
```

## 結合　文書を流用して使いたいとき

〔機能〕他の文書の一部，または全部を流用することができます。

〔操作方法〕

1.

```
春が来た
春が来た
□
```

結合させたい部分に，カーソルキーを合わせます。

2. F2 ：結合を押します。

3.

```
文書を結合する
よろしければRETURN
```

上の画面が表示されます。

よければ RETURN キーを押します。

4. ディスクドライブの使用中ランプが消えたのを確認して、プログラムディスクをぬきとり、文書ディスクをセットし、 RETURN キーを押します。
(2ドライブの機器の場合は必要ありません。)

5.

結合する文書は

□ MSX
▽ TEST1
▽ SONY
▽ LETTER
▽ SHOTAI
▽ MEMO

[△][▽]で選んで[RETURN]

結合した文書名を、[△][▽]のカーソルキーを動かして選び[RETURN]キーを押します。

パスワードがあれば、入力します。

6. ディスクドライブの使用中ランプが消えたのを確認して、文書ディスクをぬきとり、プログラムディスクをセットし、[RETURN]キーを押します。
(2ドライブの機器の場合は必要ありません。)

7. 結合した画面が表示されます。

## 書式　書式を変更したいとき

〔機能〕プリンター，用紙，文字数，行数などを変更できます。

〔操作方法〕

1. F3 ：書式を押します。

2.

```
        書式設定
プリンター：PRN-T24 漢付
    紙    ：A4
1行文字数：35
1 頁 行 数：40
文 字 間 隔：やや狭
縦書／横書：横書
印 刷 部 数：  1
印刷開始頁：  1
△▽◁▷でセットしてF3
```

画面には，現在の書式設定が表示されます。

3. カーソルキーを動かして，変更したい部分を変更してください。

   ※詳しい操作方法はIV章（49～56ページ参照）を見てください。

4. 変更がすべて終了しましたら，F3 を押します。

・ 中止したいときは，STOP キーを押します。

・ 設定した書式のデータは文書を登録する時に，文書といっしょに登録されます。

## 語削　語録で登録したものを削除したいとき

〔機能〕「語録」(98ページ参照) で登録した語句を削除します。

〔操作方法〕

1.

削除したい語句が登録されている「読み文字」を入力して、RETURN キーを押します。

2.

その「読み文字」をスペースキーを押して変換させ、削除したい語句を表示させます。

3. F4 ：語削を押します。

4.

削除：東京
よろしければ[RETURN]

画面には、上のような表示が出ますので、削除したい語句がどうか確かめて、よければ[RETURN]キーを押してください。

5. 語句は削除され、画面は元に戻ります。

・この機能を中止したいときは[STOP]キーを押します。

## 語録　語句を登録したいとき

〔機能〕文書を作成するときに、ひんぱんに使う熟語、短文や記号などを登録します。

〔操作方法〕

1.

登録したい文字、語句を入力し、変換対象とします。

2. F5 ：語録を押します。

3.

読み
：とう

上の画面のように、「読み」を聞かれますので、入力してください。

つまり、今入力した「読み」を変換したときに、操作1で登録した語句が表示されるわけです。

4. RETURN キーを押します。これで、登録されました。

登録されましたが、ここで確認してみるとよいでしょう。



「とう」と入力し、スペースキーを押して変換します。

今登録したものが1となりましたね。

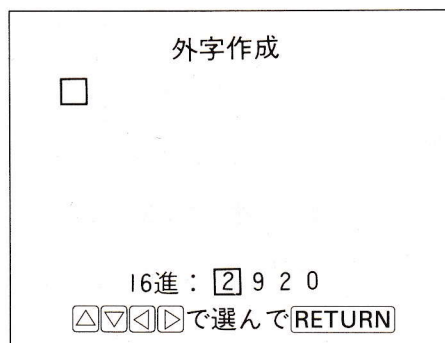
- 短文としては最大64文字まで登録することができ、また与えられる読みは13文字までです。
- 改行マーク（⏎）を含む文章は登録できません。
- この機能を中止したいときは、STOPキーを押します。

## 字作　外字（記号など）を作成したいとき

〔機能〕外字（記号など）を，自由に作り，登録することができます。

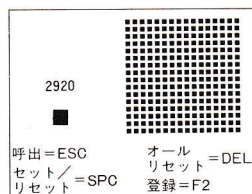
〔操作方法〕

1. F2 ：字作を押します。

2.

上の画面が出ます。

外字の番号は，2920～2F7Fまでで，672個登録することができます。

3. 外字一覧の画面において，必要のない外字*または空白のところにカーソルを合わせて RETURN キーを押します。

(*新規の外字と入れ換わりますので削除してしまってもよい外字のことです。)

上のような画面が表示されます。

4. 外字作成は，次の2通りの作成のしかたがあります。

　I　文字や外字の一部を変更して作成

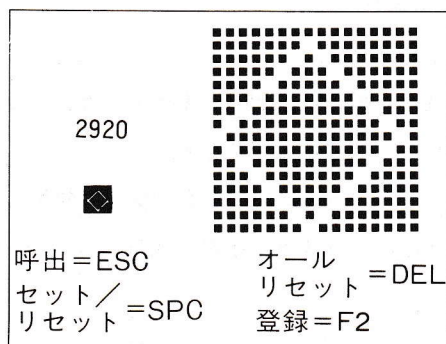
　II　新しい外字を作成

ここでは，例をあげて説明しましょう。

## Ⅰ 文字や外字の一部を変更して作成する場合

〔例〕　「◇!」を作ります。

① ESC ＝呼出を押し，数字キーで217E〔◇の16進コード〕を入力して RETURN キーを押します。

②

上の画面が表示されます。

右の大きいます目（16×16）を使って作成します。

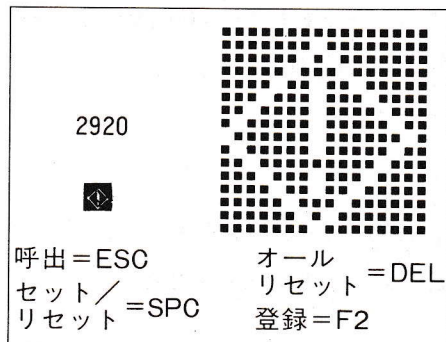
左の小さいます目は，実物大で全体を見るのに使います。

右のます目の中で，黒く点滅しているのがカーソルです。

③ カーソルは △ ▽ ◁ ▷ のカーソルキーを使用して動かします。

ぬりつぶしたいときは，スペースキーを押します。

消したいときは，もう1度スペースキーを押します。

④

上の図の点線の部分を，③の要領で追加してみてください。

⑤　できましたら，左のます目で，全体図を確認します。

⑥　OKでしたら，［F2］＝登録を押します。

⑦　入力の画面に戻ります。

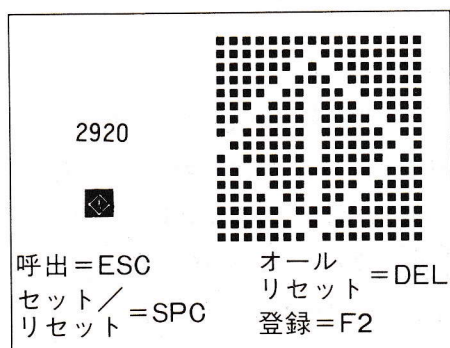
## II 新しく外字を作成する場合

〔例〕新規に「◇!」を作ります。

①　必要のない外字を選んだ場合は［DEL］＝オールリセットを押します。

②　外字の一部変更の場合と同様に操作します。

カーソルは［△］［▽］［◁］［▷］のカーソルキーを動かして使用します。

ぬりつぶしたいときはスペースキーを押し，消したいときは，再度スペースキーを押します。

③　作成が終了しましたら，左のます目で全体図を確認します。

④　OKでしたら，［F2］＝登録を押します。

⑤　新しい外字は登録されました。

画面は入力時のものに戻ります。

・　中止したいときは，［STOP］キーを押します。

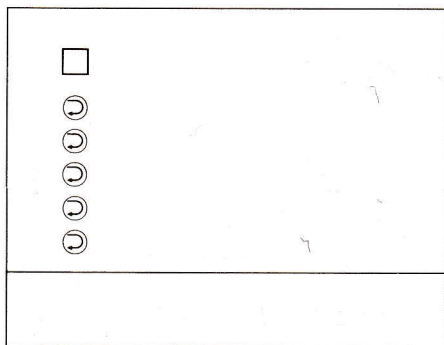
・　PRN-C41の場合は，外字の印刷はできません。

## 字選　文字や外字を選びたいとき

〔機能〕文字や外字(記号など)を選び，表示します。

〔操作方法〕

1.

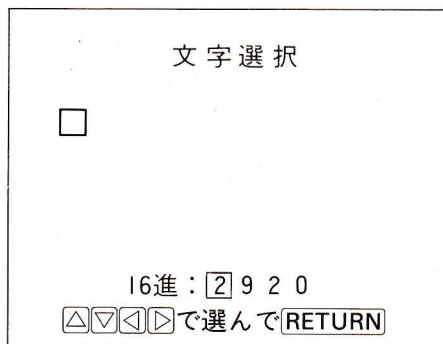
□
⏎
⏎
⏎
⏎
⏎

画面上の表示させたい部分にカーソルを合わせます。

2. [F3]：字選を押します。

3.

文字選択

□

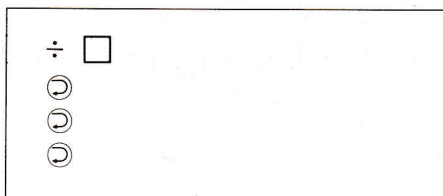
16進：[2]920
[△][▽][◁][▷]で選んで[RETURN]

上の画面が出ます。

文字や外字の番号は，2120～4F7Fの範囲で選択することができます。(2920～2F7Fが外字の領域です。)

カーソルキーの[△][▽]で，カーソルを上下に動かして行くと，別の画面に変わります。

4.　表示させたい文字や外字にカーソルを合わせて RETURN キーを押します。

5.

```
÷ □
⊋
⊋
⊋
```

選択した文字や外字が画面に表示されます。

- 直接数値（16進コード）を入力しても，そのコードに対応する文字を含む画面を呼び出すことができます。
- ギリシャ文字の1部は，読みでも変換できます。(例：あるふぁ→$\alpha$，A)
- SHIFT ＋△▽で1画面分ずつかわります。
- 中止したいときは，STOP キーを押します。

## マーク　　文書中にマークをつけたいとき（⇨印刷すると空白になる）

〔機能〕文書中にマークをつけることができます。

〔操作方法〕

1.

文書中の印をつけたい部分に、カーソルキーを合わせます。

2. F4 ：マークを押します。

3.

オリエンテーリングのお知らせ

1 日時――5月5日 マ 時

2 場所――

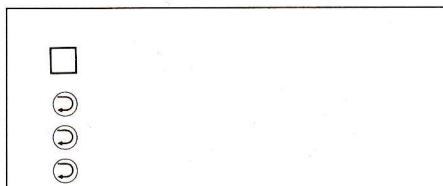
指定した箇所にマが表示されます。

印刷した場合、マの箇所は空白（ブランク）になります。

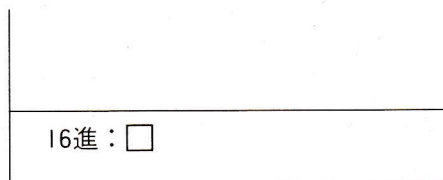
## 16進　　文字や記号を16進コードで入力したいとき

〔機能〕文字や記号などを，16進コードで入力することができます。

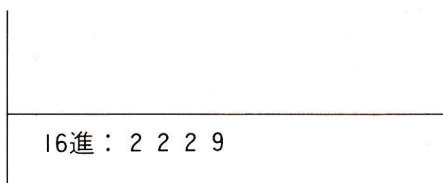
〔操作方法〕

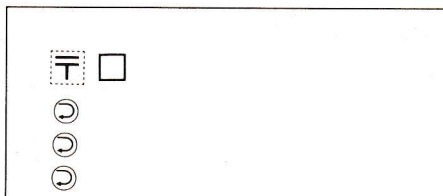
1.

16進で入力したい位置にカーソルを合わせます。

2. F5 ：16進を押します。

3.

画面の下に，上の表示が出ます。付録のコード一覧表を見て，表示させたい文字や記号のコードを入力してください。

4.

16進：２２２９

例えば「〒」の記号を表示させたいときは，「2229」を入力して RETURN キーを押します。

5.

指定した位置に「〒」の記号が表示されます。

# 目的別索引

その他

# 付　録

ここには，次の2つの表とユーティリティの使いかたがのっています。

### 1.　ローマ字一覧表

ローマ字入力モードのときに，かなに変換できる文字の組合せの一覧表です。あまり使わない「ツェ」などのつまる音を表示させたい場合などにご利用ください。

### 2.　MSX標準文字コード表

この「ワープロ」が内蔵している文字（漢字，英数字，カタカナ，ひらがな，ギリシア文字，ロシア文字，その他記号）の一覧表です。漢字の場合，音読みの五十音順に並んでいますので，変換させずに表示したいときご利用ください。

**表のみかた**

縦の欄はコードの最初の3桁を示し，横の欄は最後の1桁を示しています。

例えば，「飴」を表示させたいときは16進コード入力にして，**16進**：のあとに303Bと入力します。

### 3.　ユーティリティ（文II文書テープ変換）の使いかた

「日本語フープロ・ワードランド文II」で作成した文書テープのデータを「漢熟トマト」の文書ディスクに移し変えることができます。「ワードランド文II」をすでにお持ちの方は，このユーティリティをご利用ください。

# 1．ローマ字一覧表

ローマ字入力モードでの変換の規則を示します。BからZのキーを入力して，2文字目以降（AからN）の文字を入力すると，下図のように変換されます。

| | A | I | U | E | O | YA | YI | YU | YE | YO | HA | HI | HU | HE | HO | SU | N |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | あ | い | う | え | お | | | | | | | | | | | | |
| B | ば | び | ぶ | べ | ぼ | びゃ | びぃ | びゅ | びぇ | びょ | | | | | | | |
| C | | | | | | ちゃ | ちぃ | ちゅ | ちぇ | ちょ | ちゃ | ち | ちゅ | ちぇ | ちょ | | |
| D | だ | ぢ | づ | で | ど | ぢゃ | ぢぃ | ぢゅ | ぢぇ | ぢょ | でゃ | でぃ | でゅ | でぇ | でょ | | |
| F | ふぁ | ふぃ | ふ | ふぇ | ふぉ | ふゃ | ふぃ | ふゅ | ふぇ | ふょ | | | | | | | |
| G | が | ぎ | ぐ | げ | ご | ぎゃ | ぎぃ | ぎゅ | ぎぇ | ぎょ | | | | | | | |
| H | は | ひ | ふ | へ | ほ | ひゃ | ひぃ | ひゅ | ひぇ | ひょ | | | | | | | |
| J | じゃ | じ | じゅ | じぇ | じょ | じゃ | じぃ | じゅ | じぇ | じょ | | | | | | | |
| K | か | き | く | け | こ | きゃ | きぃ | きゅ | きぇ | きょ | | | | | | | |
| L | ぁ | ぃ | ぅ | ぇ | ぉ | ゃ | ぃ | ゅ | ぇ | ょ | | | | | | | |
| M | ま | み | む | め | も | みゃ | みぃ | みゅ | みぇ | みょ | | | | | | | |
| N | な | に | ぬ | ね | の | にゃ | にぃ | にゅ | にぇ | にょ | | | | | | | ん |
| P | ぱ | ぴ | ぷ | ぺ | ぽ | ぴゃ | ぴぃ | ぴゅ | ぴぇ | ぴょ | | | | | | | |
| R | ら | り | る | れ | ろ | りゃ | りぃ | りゅ | りぇ | りょ | | | | | | | |
| S | さ | し | す | せ | そ | しゃ | しぃ | しゅ | しぇ | しょ | しゃ | し | しゅ | しぇ | しょ | | |
| T | た | ち | つ | て | と | ちゃ | ちぃ | ちゅ | ちぇ | ちょ | てゃ | てぃ | てゅ | てぇ | てょ | つ | |
| W | わ | うぃ | う | うぇ | を | | | | | | | ゐ | | ゑ | | | |
| Y | や | い | ゆ | いぇ | よ | | | | | | | | | | | | |
| Z | ざ | じ | ず | ぜ | ぞ | じゃ | じぃ | じゅ | じぇ | じょ | | | | | | | |
| V | ヴぁ | ヴぃ | ヴぅ | ヴぇ | ヴぉ | | | | | | | | | | | | |

●1文字では「かな」が確定しない文字を重ねると「っ」に変換されます。

(例)KKと入力すると，カーソル位置に「っ」が表示されます。

# 2．MSX標準文字コード表

●コードはすべて16進形式で表現されています。この表の使いかたについては，110ページをごらんください。

記号

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 212X | | | 、 | 。 | ， | ． | ・ | ： | ； | ？ | ！ | ゛ | ゜ | ´ | ｀ | ¨ |
| 213X | ＾ | ￣ | ＿ | ヽ | ヾ | ゝ | ゞ | 〃 | 仝 | 々 | 〆 | 〇 | ー | ― | ‐ | ／ |
| 214X | ＼ | ～ | ‖ | ｜ | … | ‥ | ‘ | ’ | “ | ” | （ | ） | 〔 | 〕 | ［ | ］ |
| 215X | ｛ | ｝ | 〈 | 〉 | 《 | 》 | 「 | 」 | 『 | 』 | 【 | 】 | ＋ | － | ± | × |
| 216X | ÷ | ＝ | ≠ | ＜ | ＞ | ≦ | ≧ | ∞ | ∴ | ♂ | ♀ | ° | ′ | ″ | ℃ | ￥ |
| 217X | ＄ | ￠ | ￡ | ％ | ＃ | ＆ | ＊ | ＠ | § | ☆ | ★ | ○ | ● | ◎ | ◇ | |
| 222X | | ◆ | □ | ■ | △ | ▲ | ▽ | ▼ | ※ | 〒 | → | ← | ↑ | ↓ | 〓 | ㈱ |
| 223X | ㈲ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅵ | Ⅶ | Ⅷ | Ⅸ | Ⅹ | g | m | cm | mm | km |
| 224X | cm² | m² | ml | mg | kg | μs | ㈹ | K.K. | TEL | No. | インチ | | グラム | メートル | センチ | ミリ |
| 225X | ヘクタール | アール | ドル | トン | キロ | キログラム | キロワット | ワット | リットル | パーセント | ページ | ヤード | フィート | ① | ② | ③ |
| 226X | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | 〚 | 〛 | 〶 | ☎ | ᘮ | ∫ | √ | ￣ | ⊓ |
| 227X | \| \| | ⊔ | ⌒ | ◡ | [ | ￣＿ | ] | ( | ) | (CR1) | (CR2) | ㊖ | (均) | ⇧ | ⇩ | |
| 232X | | ← | ◀ | ‥ | ‥ | · | ： | ⇨ | | | | | | | | |

英・数字

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 233X | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | | | | | |
| 234X | | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O |
| 235X | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | | | | | |
| 236X | | a | b | c | d | e | f | g | h | i | j | k | l | m | n | o |
| 237X | p | q | r | s | t | u | v | w | x | y | z | | | | | |

ひらがな

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 242X | | ぁ | あ | ぃ | い | ぅ | う | ぇ | え | ぉ | お | か | が | き | ぎ | く |
| 243X | ぐ | け | げ | こ | ご | さ | ざ | し | じ | す | ず | せ | ぜ | そ | ぞ | た |
| 244X | だ | ち | ぢ | っ | つ | づ | て | で | と | ど | な | に | ぬ | ね | の | は |
| 245X | ば | ぱ | ひ | び | ぴ | ふ | ぶ | ぷ | へ | べ | ぺ | ほ | ぼ | ぽ | ま | み |
| 246X | む | め | も | ゃ | や | ゅ | ゆ | ょ | よ | ら | り | る | れ | ろ | ゎ | わ |
| 247X | ゐ | ゑ | を | ん | | | | | | | | | | | | |

カタカナ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 252X | | ァ | ア | ィ | イ | ゥ | ウ | ェ | エ | ォ | オ | カ | ガ | キ | ギ | ク |
| 253X | グ | ケ | ゲ | コ | ゴ | サ | ザ | シ | ジ | ス | ズ | セ | ゼ | ソ | ゾ | タ |
| 254X | ダ | チ | ヂ | ッ | ツ | ヅ | テ | デ | ト | ド | ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ | ハ |
| 255X | バ | パ | ヒ | ビ | ピ | フ | ブ | プ | ヘ | ベ | ペ | ホ | ボ | ポ | マ | ミ |
| 256X | ム | メ | モ | ャ | ヤ | ュ | ユ | ョ | ヨ | ラ | リ | ル | レ | ロ | ヮ | ワ |
| 257X | ヰ | ヱ | ヲ | ン | ヴ | ヵ | ヶ | | | | | | | | | |

ギリシャ文字

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 262X | | Α | Β | Γ | Δ | Ε | Ζ | Η | Θ | Ι | Κ | Λ | Μ | Ν | Ξ | Ο |
| 263X | Π | Ρ | Σ | Τ | Υ | Φ | Χ | Ψ | Ω | | | | | | | |
| 264X | | α | β | γ | δ | ε | ζ | η | θ | ι | κ | λ | μ | ν | ξ | ο |
| 265X | π | ρ | σ | τ | υ | φ | χ | ψ | ω | | | | | | | |

ロシア文字

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 272X | | А | Б | В | Г | Д | Е | Ё | Ж | З | И | Й | К | Л | М | Н |
| 273X | О | П | Р | С | Т | У | Ф | Х | Ц | Ч | Ш | Щ | Ъ | Ы | Ь | Э |
| 274X | Ю | Я | | | | | | | | | | | | | | |
| 275X | | а | б | в | г | д | е | ё | ж | з | и | й | к | л | м | н |
| 276X | о | п | р | с | т | у | ф | х | ц | ч | ш | щ | ъ | ы | ь | э |
| 277X | ю | я | | | | | | | | | | | | | | |

ア

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 302X | | 亜 | 唖 | 娃 | 阿 | 哀 | 愛 | 挨 | 姶 | 逢 | 葵 | 茜 | 穐 | 悪 | 握 | 渥 |
| 303X | 旭 | 葦 | 芦 | 鯵 | 梓 | 圧 | 斡 | 扱 | 宛 | 姐 | 虻 | 飴 | 絢 | 綾 | 鮎 | 或 |

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 304X | 粟 | 袷 | 安 | 庵 | 按 | 暗 | 案 | 闇 | 鞍 | 杏 | | | | | | |

イ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 304X | | | | | | | | | | | 以 | 伊 | 位 | 依 | 偉 | 囲 |
| 305X | 夷 | 委 | 威 | 尉 | 惟 | 意 | 慰 | 易 | 椅 | 為 | 畏 | 異 | 移 | 維 | 緯 | 胃 |
| 306X | 萎 | 衣 | 謂 | 違 | 遺 | 医 | 井 | 亥 | 域 | 育 | 郁 | 磯 | 一 | 壱 | 溢 | 逸 |
| 307X | 稲 | 茨 | 芋 | 鰯 | 允 | 印 | 咽 | 員 | 因 | 姻 | 引 | 飲 | 淫 | 胤 | 蔭 | |
| 312X | | 院 | 陰 | 隠 | 韻 | 吋 | | | | | | | | | | |

ウ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 312X | | | | | | | 右 | 宇 | 烏 | 羽 | 迂 | 雨 | 卯 | 鵜 | 窺 | 丑 |
| 313X | 碓 | 臼 | 渦 | 嘘 | 唄 | 欝 | 蔚 | 鰻 | 姥 | 厩 | 浦 | 瓜 | 閏 | 噂 | 云 | 運 |
| 314X | 雲 | | | | | | | | | | | | | | | |

エ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 314X | | 荏 | 餌 | 叡 | 営 | 嬰 | 影 | 映 | 曳 | 栄 | 永 | 泳 | 洩 | 瑛 | 盈 | 穎 |
| 315X | 頴 | 英 | 衛 | 詠 | 鋭 | 液 | 疫 | 益 | 駅 | 悦 | 謁 | 越 | 閲 | 榎 | 厭 | 円 |
| 316X | 園 | 堰 | 奄 | 宴 | 延 | 怨 | 掩 | 援 | 沿 | 演 | 炎 | 焔 | 煙 | 燕 | 猿 | 縁 |
| 317X | 艶 | 苑 | 薗 | 遠 | 鉛 | 鴛 | 塩 | | | | | | | | | |

オ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 317X | | | | | | | | 於 | 汚 | 甥 | 凹 | 央 | 奥 | 往 | 応 | |
| 322X | | 押 | 旺 | 横 | 欧 | 殴 | 王 | 翁 | 襖 | 鴬 | 鴎 | 黄 | 岡 | 沖 | 荻 | 億 |
| 323X | 屋 | 憶 | 臆 | 桶 | 牡 | 乙 | 俺 | 卸 | 恩 | 温 | 穏 | 音 | | | | |

カ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 323X | | | | | | | | | | | | | 下 | 化 | 仮 | 何 |
| 324X | 伽 | 価 | 佳 | 加 | 可 | 嘉 | 夏 | 嫁 | 家 | 寡 | 科 | 暇 | 果 | 架 | 歌 | 河 |
| 325X | 火 | 珂 | 禍 | 禾 | 稼 | 箇 | 花 | 苛 | 茄 | 荷 | 華 | 菓 | 蝦 | 課 | 嘩 | 貨 |
| 326X | 迦 | 過 | 霞 | 蚊 | 俄 | 峨 | 我 | 牙 | 画 | 臥 | 芽 | 蛾 | 賀 | 雅 | 餓 | 駕 |
| 327X | 介 | 会 | 解 | 回 | 塊 | 壊 | 廻 | 快 | 怪 | 悔 | 恢 | 懐 | 戒 | 拐 | 改 | |
| 332X | | 魁 | 晦 | 械 | 海 | 灰 | 界 | 皆 | 絵 | 芥 | 蟹 | 開 | 階 | 貝 | 凱 | 劾 |
| 333X | 外 | 咳 | 害 | 崖 | 慨 | 概 | 涯 | 碍 | 蓋 | 街 | 該 | 鎧 | 骸 | 浬 | 馨 | 蛙 |

|  | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 334X | 垣 | 柿 | 蛎 | 鈎 | 劃 | 嚇 | 各 | 廓 | 拡 | 撹 | 格 | 核 | 殻 | 獲 | 確 | 穫 |
| 335X | 覚 | 角 | 赫 | 較 | 郭 | 閣 | 隔 | 革 | 学 | 岳 | 楽 | 額 | 顎 | 掛 | 笠 | 樫 |
| 336X | 橿 | 梶 | 鰍 | 潟 | 割 | 喝 | 恰 | 括 | 活 | 渇 | 滑 | 葛 | 褐 | 轄 | 且 | 鰹 |
| 337X | 叶 | 椛 | 樺 | 鞄 | 株 | 兜 | 竃 | 蒲 | 釜 | 鎌 | 噛 | 鴨 | 栢 | 茅 | 萱 |  |
| 342X |  | 粥 | 刈 | 苅 | 瓦 | 乾 | 侃 | 冠 | 寒 | 刊 | 勘 | 勧 | 巻 | 喚 | 堪 | 姦 |
| 343X | 完 | 官 | 寛 | 干 | 幹 | 患 | 感 | 慣 | 憾 | 換 | 敢 | 柑 | 桓 | 棺 | 款 | 歓 |
| 344X | 汗 | 漢 | 澗 | 潅 | 環 | 甘 | 監 | 看 | 竿 | 管 | 簡 | 緩 | 缶 | 翰 | 肝 | 艦 |
| 345X | 莞 | 観 | 諌 | 貫 | 還 | 鑑 | 間 | 閑 | 関 | 陥 | 韓 | 館 | 舘 | 丸 | 含 | 岸 |
| 346X | 巌 | 玩 | 癌 | 眼 | 岩 | 翫 | 贋 | 雁 | 頑 | 顔 | 願 |  |  |  |  |  |

キ

|  | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 346X |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 企 | 伎 | 危 | 喜 | 器 |
| 347X | 基 | 奇 | 嬉 | 寄 | 岐 | 希 | 幾 | 忌 | 揮 | 机 | 旗 | 既 | 期 | 棋 | 棄 |  |
| 352X |  | 機 | 帰 | 毅 | 気 | 汽 | 畿 | 祈 | 季 | 稀 | 紀 | 徽 | 規 | 記 | 貴 | 起 |
| 353X | 軌 | 輝 | 飢 | 騎 | 鬼 | 亀 | 偽 | 儀 | 妓 | 宜 | 戯 | 技 | 擬 | 欺 | 犠 | 疑 |
| 354X | 祇 | 義 | 蟻 | 誼 | 議 | 掬 | 菊 | 鞠 | 吉 | 吃 | 喫 | 桔 | 橘 | 詰 | 砧 | 杵 |
| 355X | 黍 | 却 | 客 | 脚 | 虐 | 逆 | 丘 | 久 | 仇 | 休 | 及 | 吸 | 宮 | 弓 | 急 | 救 |
| 356X | 朽 | 求 | 汲 | 泣 | 灸 | 球 | 究 | 窮 | 笈 | 級 | 糾 | 給 | 旧 | 牛 | 去 | 居 |
| 357X | 巨 | 拒 | 拠 | 挙 | 渠 | 虚 | 許 | 距 | 鋸 | 漁 | 禦 | 魚 | 亨 | 享 | 京 |  |
| 362X |  | 供 | 侠 | 僑 | 兇 | 競 | 共 | 凶 | 協 | 匡 | 卿 | 叫 | 喬 | 境 | 峡 | 強 |
| 363X | 彊 | 怯 | 恐 | 恭 | 挟 | 教 | 橋 | 況 | 狂 | 狭 | 矯 | 胸 | 脅 | 興 | 蕎 | 郷 |
| 364X | 鏡 | 響 | 饗 | 驚 | 仰 | 凝 | 尭 | 暁 | 業 | 局 | 曲 | 極 | 玉 | 桐 | 粁 | 僅 |
| 365X | 勤 | 均 | 巾 | 錦 | 斤 | 欣 | 欽 | 琴 | 禁 | 禽 | 筋 | 緊 | 芹 | 菌 | 衿 | 襟 |
| 366X | 謹 | 近 | 金 | 吟 | 銀 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

ク

|  | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 366X |  |  |  |  |  | 九 | 倶 | 句 | 区 | 狗 | 玖 | 矩 | 苦 | 躯 | 駆 | 駈 |
| 367X | 駒 | 具 | 愚 | 虞 | 喰 | 空 | 偶 | 寓 | 遇 | 隅 | 串 | 櫛 | 釧 | 屑 | 屈 |  |
| 372X |  | 掘 | 窟 | 沓 | 靴 | 轡 | 窪 | 熊 | 隈 | 粂 | 栗 | 繰 | 桑 | 鍬 | 勲 | 君 |

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 373X | 薫 | 訓 | 群 | 軍 | 郡 | | | | | | | | | | | |

ケ

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 373X | | | | | | 卦 | 袈 | 祁 | 係 | 傾 | 刑 | 兄 | 啓 | 圭 | 珪 | 型 |
| 374X | 契 | 形 | 径 | 恵 | 慶 | 慧 | 憩 | 掲 | 携 | 敬 | 景 | 桂 | 渓 | 畦 | 稽 | 系 |
| 375X | 経 | 継 | 繋 | 罫 | 茎 | 荊 | 蛍 | 計 | 詣 | 警 | 軽 | 頚 | 鶏 | 芸 | 迎 | 鯨 |
| 376X | 劇 | 戟 | 撃 | 激 | 隙 | 桁 | 傑 | 欠 | 決 | 潔 | 穴 | 結 | 血 | 訣 | 月 | 件 |
| 377X | 倹 | 倦 | 健 | 兼 | 券 | 剣 | 喧 | 圏 | 堅 | 嫌 | 建 | 憲 | 懸 | 拳 | 捲 | |
| 382X | | 検 | 権 | 牽 | 犬 | 献 | 研 | 硯 | 絹 | 県 | 肩 | 見 | 謙 | 賢 | 軒 | 遣 |
| 383X | 鍵 | 険 | 顕 | 験 | 鹼 | 元 | 原 | 厳 | 幻 | 弦 | 減 | 源 | 玄 | 現 | 絃 | 舷 |
| 384X | 言 | 諺 | 限 | | | | | | | | | | | | | |

コ

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 384X | | | | 乎 | 個 | 古 | 呼 | 固 | 姑 | 孤 | 己 | 庫 | 弧 | 戸 | 故 | 枯 |
| 385X | 湖 | 狐 | 糊 | 袴 | 股 | 胡 | 菰 | 虎 | 誇 | 跨 | 鈷 | 雇 | 顧 | 鼓 | 五 | 互 |
| 386X | 伍 | 午 | 呉 | 吾 | 娯 | 後 | 御 | 悟 | 梧 | 檎 | 瑚 | 碁 | 語 | 誤 | 護 | 醐 |
| 387X | 乞 | 鯉 | 交 | 佼 | 侯 | 候 | 倖 | 光 | 公 | 功 | 効 | 勾 | 厚 | 口 | 向 | |
| 392X | | 后 | 喉 | 坑 | 垢 | 好 | 孔 | 孝 | 宏 | 工 | 巧 | 巷 | 幸 | 広 | 庚 | 康 |
| 393X | 弘 | 恒 | 慌 | 抗 | 拘 | 控 | 攻 | 昂 | 晃 | 更 | 杭 | 校 | 梗 | 構 | 江 | 洪 |
| 394X | 浩 | 港 | 溝 | 甲 | 皇 | 硬 | 稿 | 糠 | 紅 | 紘 | 絞 | 綱 | 耕 | 考 | 肯 | 肱 |
| 395X | 腔 | 膏 | 航 | 荒 | 行 | 衡 | 講 | 貢 | 購 | 郊 | 酵 | 鉱 | 砿 | 鋼 | 閤 | 降 |
| 396X | 項 | 香 | 高 | 鴻 | 剛 | 劫 | 号 | 合 | 壕 | 拷 | 濠 | 豪 | 轟 | 麹 | 克 | 刻 |
| 397X | 告 | 国 | 穀 | 酷 | 鵠 | 黒 | 獄 | 漉 | 腰 | 甑 | 忽 | 惚 | 骨 | 狛 | 込 | |
| 3A2X | | 此 | 頃 | 今 | 困 | 坤 | 墾 | 婚 | 恨 | 懇 | 昏 | 昆 | 根 | 梱 | 混 | 痕 |
| 3A3X | 紺 | 艮 | 魂 | | | | | | | | | | | | | |

サ

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3A3X | | | | 些 | 佐 | 叉 | 唆 | 嵯 | 左 | 差 | 査 | 沙 | 瑳 | 砂 | 詐 | 鎖 |
| 3A4X | 裟 | 坐 | 座 | 挫 | 債 | 催 | 再 | 最 | 哉 | 塞 | 妻 | 宰 | 彩 | 才 | 採 | 栽 |
| 3A5X | 歳 | 済 | 災 | 采 | 犀 | 砕 | 砦 | 祭 | 斎 | 細 | 菜 | 裁 | 載 | 際 | 剤 | 在 |

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3A6X | 材 | 罪 | 財 | 冴 | 坂 | 阪 | 堺 | 榊 | 肴 | 咲 | 崎 | 埼 | 碕 | 鷺 | 作 | 削 |
| 3A7X | 咋 | 搾 | 昨 | 朔 | 柵 | 窄 | 策 | 索 | 錯 | 桜 | 鮭 | 笹 | 匙 | 冊 | 刷 | |
| 3B2X | | 察 | 拶 | 撮 | 擦 | 札 | 殺 | 薩 | 雑 | 皐 | 鯖 | 捌 | 錆 | 鮫 | 皿 | 晒 |
| 3B3X | 三 | 傘 | 参 | 山 | 惨 | 撒 | 散 | 桟 | 燦 | 珊 | 産 | 算 | 纂 | 蚕 | 讃 | 賛 |
| 3B4X | 酸 | 餐 | 斬 | 暫 | 残 | | | | | | | | | | | |

シ

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3B4X | | | | | | 仕 | 仔 | 伺 | 使 | 刺 | 司 | 史 | 嗣 | 四 | 士 | 始 |
| 3B5X | 姉 | 姿 | 子 | 屍 | 市 | 師 | 志 | 思 | 指 | 支 | 孜 | 斯 | 施 | 旨 | 枝 | 止 |
| 3B6X | 死 | 氏 | 獅 | 祉 | 私 | 糸 | 紙 | 紫 | 肢 | 脂 | 至 | 視 | 詞 | 詩 | 試 | 誌 |
| 3B7X | 諮 | 資 | 賜 | 雌 | 飼 | 歯 | 事 | 似 | 侍 | 児 | 字 | 寺 | 慈 | 持 | 時 | |
| 3C2X | | 次 | 滋 | 治 | 爾 | 璽 | 痔 | 磁 | 示 | 而 | 耳 | 自 | 蒔 | 辞 | 汐 | 鹿 |
| 3C3X | 式 | 識 | 鴫 | 竺 | 軸 | 宍 | 雫 | 七 | 叱 | 執 | 失 | 嫉 | 室 | 悉 | 湿 | 漆 |
| 3C4X | 疾 | 質 | 実 | 蔀 | 篠 | 偲 | 柴 | 芝 | 屡 | 蕊 | 縞 | 舎 | 写 | 射 | 捨 | 赦 |
| 3C5X | 斜 | 煮 | 社 | 紗 | 者 | 謝 | 車 | 遮 | 蛇 | 邪 | 借 | 勺 | 尺 | 杓 | 灼 | 爵 |
| 3C6X | 酌 | 釈 | 錫 | 若 | 寂 | 弱 | 惹 | 主 | 取 | 守 | 手 | 朱 | 殊 | 狩 | 珠 | 種 |
| 3C7X | 腫 | 趣 | 酒 | 首 | 儒 | 受 | 呪 | 寿 | 授 | 樹 | 綬 | 需 | 囚 | 収 | 周 | |
| 3D2X | | 宗 | 就 | 州 | 修 | 愁 | 拾 | 洲 | 秀 | 秋 | 終 | 繍 | 習 | 臭 | 舟 | 蒐 |
| 3D3X | 衆 | 襲 | 讐 | 蹴 | 輯 | 週 | 酋 | 酬 | 集 | 醜 | 什 | 住 | 充 | 十 | 従 | 戎 |
| 3D4X | 柔 | 汁 | 渋 | 獣 | 縦 | 重 | 銃 | 叔 | 夙 | 宿 | 淑 | 祝 | 縮 | 粛 | 塾 | 熟 |
| 3D5X | 出 | 術 | 述 | 俊 | 峻 | 春 | 瞬 | 竣 | 舜 | 駿 | 准 | 循 | 旬 | 楯 | 殉 | 淳 |
| 3D6X | 準 | 潤 | 盾 | 純 | 巡 | 遵 | 醇 | 順 | 処 | 初 | 所 | 暑 | 曙 | 渚 | 庶 | 緒 |
| 3D7X | 署 | 書 | 薯 | 藷 | 諸 | 助 | 叙 | 女 | 序 | 徐 | 恕 | 鋤 | 除 | 傷 | 償 | |
| 3E2X | | 勝 | 匠 | 升 | 召 | 哨 | 商 | 唱 | 嘗 | 奨 | 妾 | 娼 | 宵 | 将 | 小 | 少 |
| 3E3X | 尚 | 庄 | 床 | 廠 | 彰 | 承 | 抄 | 招 | 掌 | 捷 | 昇 | 昌 | 昭 | 晶 | 松 | 梢 |
| 3E4X | 樟 | 樵 | 沼 | 消 | 渉 | 湘 | 焼 | 焦 | 照 | 症 | 省 | 硝 | 礁 | 祥 | 称 | 章 |
| 3E5X | 笑 | 粧 | 紹 | 肖 | 菖 | 蒋 | 蕉 | 衝 | 裳 | 訟 | 証 | 詔 | 詳 | 象 | 賞 | 醤 |
| 3E6X | 鉦 | 鍾 | 鐘 | 障 | 鞘 | 上 | 丈 | 丞 | 乗 | 冗 | 剰 | 城 | 場 | 壌 | 嬢 | 常 |

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3E7X | 情 | 擾 | 条 | 杖 | 浄 | 状 | 畳 | 穣 | 蒸 | 譲 | 醸 | 錠 | 嘱 | 埴 | 飾 | |
| 3F2X | | 拭 | 植 | 殖 | 燭 | 織 | 職 | 色 | 触 | 食 | 蝕 | 辱 | 尻 | 伸 | 信 | 侵 |
| 3F3X | 唇 | 娠 | 寝 | 審 | 心 | 慎 | 振 | 新 | 晋 | 森 | 榛 | 浸 | 深 | 申 | 疹 | 真 |
| 3F4X | 神 | 秦 | 紳 | 臣 | 芯 | 薪 | 親 | 診 | 身 | 辛 | 進 | 針 | 震 | 人 | 仁 | 刃 |
| 3F5X | 塵 | 壬 | 尋 | 甚 | 尽 | 腎 | 訊 | 迅 | 陣 | 靭 | | | | | | |

ス

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3F5X | | | | | | | | | | | 笥 | 諏 | 須 | 酢 | 図 | 厨 |
| 3F6X | 逗 | 吹 | 垂 | 帥 | 推 | 水 | 炊 | 睡 | 粋 | 翠 | 衰 | 遂 | 酔 | 錐 | 錘 | 随 |
| 3F7X | 瑞 | 髄 | 崇 | 嵩 | 数 | 枢 | 趨 | 雛 | 据 | 杉 | 椙 | 菅 | 頗 | 雀 | 裾 | |
| 402X | | 澄 | 摺 | 寸 | | | | | | | | | | | | |

セ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 402X | | | | | 世 | 瀬 | 畝 | 是 | 凄 | 制 | 勢 | 姓 | 征 | 性 | 成 | 政 |
| 403X | 整 | 星 | 晴 | 棲 | 栖 | 正 | 清 | 牲 | 生 | 盛 | 精 | 聖 | 声 | 製 | 西 | 誠 |
| 404X | 誓 | 請 | 逝 | 醒 | 青 | 静 | 斉 | 税 | 脆 | 隻 | 席 | 惜 | 戚 | 斥 | 昔 | 析 |
| 405X | 石 | 積 | 籍 | 績 | 脊 | 責 | 赤 | 跡 | 蹟 | 碩 | 切 | 拙 | 接 | 摂 | 折 | 設 |
| 406X | 窃 | 節 | 説 | 雪 | 絶 | 舌 | 蝉 | 仙 | 先 | 千 | 占 | 宣 | 専 | 尖 | 川 | 戦 |
| 407X | 扇 | 撰 | 栓 | 栴 | 泉 | 浅 | 洗 | 染 | 潜 | 煎 | 煽 | 旋 | 穿 | 箭 | 線 | |
| 412X | | 繊 | 羨 | 腺 | 舛 | 船 | 薦 | 詮 | 賎 | 践 | 選 | 遷 | 銭 | 銑 | 閃 | 鮮 |
| 413X | 前 | 善 | 漸 | 然 | 全 | 禅 | 繕 | 膳 | 糎 | | | | | | | |

ソ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 413X | | | | | | | | | | 噌 | 塑 | 岨 | 措 | 曾 | 曽 | 楚 |
| 414X | 狙 | 疏 | 疎 | 礎 | 祖 | 租 | 粗 | 素 | 組 | 蘇 | 訴 | 阻 | 遡 | 鼠 | 僧 | 創 |
| 415X | 双 | 叢 | 倉 | 喪 | 壮 | 奏 | 爽 | 宋 | 層 | 匝 | 惣 | 想 | 捜 | 掃 | 挿 | 掻 |
| 416X | 操 | 早 | 曹 | 巣 | 槍 | 槽 | 漕 | 燥 | 争 | 痩 | 相 | 窓 | 糟 | 総 | 綜 | 聡 |
| 417X | 草 | 荘 | 葬 | 蒼 | 藻 | 装 | 走 | 送 | 遭 | 鎗 | 霜 | 騒 | 像 | 増 | 憎 | |
| 422X | | 臓 | 蔵 | 贈 | 造 | 促 | 側 | 則 | 即 | 息 | 捉 | 束 | 測 | 足 | 速 | 俗 |
| 423X | 属 | 賊 | 族 | 続 | 卒 | 袖 | 其 | 揃 | 存 | 孫 | 尊 | 損 | 村 | 遜 | | |

| | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| タ | 423X | | | | | | | | | | | | | | | 他 | 多 |
| | 424X | 太 | 汰 | 詑 | 唾 | 堕 | 妥 | 惰 | 打 | 柁 | 舵 | 楕 | 陀 | 駄 | 騨 | 体 | 堆 |
| | 425X | 対 | 耐 | 岱 | 帯 | 待 | 怠 | 態 | 戴 | 替 | 泰 | 滞 | 胎 | 腿 | 苔 | 袋 | 貸 |
| | 426X | 退 | 逮 | 隊 | 黛 | 鯛 | 代 | 台 | 大 | 第 | 醍 | 題 | 鷹 | 滝 | 瀧 | 卓 | 啄 |
| | 427X | 宅 | 托 | 択 | 拓 | 沢 | 濯 | 琢 | 託 | 鐸 | 濁 | 諾 | 茸 | 凧 | 蛸 | 只 | |
| | 432X | | 叩 | 但 | 達 | 辰 | 奪 | 脱 | 巽 | 竪 | 辿 | 棚 | 谷 | 狸 | 鱈 | 樽 | 誰 |
| | 433X | 丹 | 単 | 嘆 | 坦 | 担 | 探 | 旦 | 歎 | 淡 | 湛 | 炭 | 短 | 端 | 箪 | 綻 | 耽 |
| | 434X | 胆 | 蛋 | 誕 | 鍛 | 団 | 壇 | 弾 | 断 | 暖 | 檀 | 段 | 男 | 談 | | | |
| チ | 434X | | | | | | | | | | | | | | 値 | 知 | 地 |
| | 435X | 弛 | 恥 | 智 | 池 | 痴 | 稚 | 置 | 致 | 蜘 | 遅 | 馳 | 築 | 畜 | 竹 | 筑 | 蓄 |
| | 436X | 逐 | 秩 | 窒 | 茶 | 嫡 | 着 | 中 | 仲 | 宙 | 忠 | 抽 | 昼 | 柱 | 注 | 虫 | 衷 |
| | 437X | 註 | 酎 | 鋳 | 駐 | 樗 | 瀦 | 猪 | 苧 | 著 | 貯 | 丁 | 兆 | 凋 | 喋 | 寵 | |
| | 442X | | 帖 | 帳 | 庁 | 弔 | 張 | 彫 | 徴 | 懲 | 挑 | 暢 | 朝 | 潮 | 牒 | 町 | 眺 |
| | 443X | 聴 | 脹 | 腸 | 蝶 | 調 | 諜 | 超 | 跳 | 銚 | 長 | 頂 | 鳥 | 勅 | 捗 | 直 | 朕 |
| | 444X | 沈 | 珍 | 賃 | 鎮 | 陳 | | | | | | | | | | | |
| ツ | 444X | | | | | | 津 | 墜 | 椎 | 槌 | 追 | 鎚 | 痛 | 通 | 塚 | 栂 | 掴 |
| | 445X | 槻 | 佃 | 漬 | 柘 | 辻 | 蔦 | 綴 | 鍔 | 椿 | 潰 | 坪 | 壷 | 嬬 | 紬 | 爪 | 吊 |
| | 446X | 釣 | 鶴 | | | | | | | | | | | | | | |
| テ | 446X | | | 亭 | 低 | 停 | 偵 | 剃 | 貞 | 呈 | 堤 | 定 | 帝 | 底 | 庭 | 廷 | 弟 |
| | 447X | 悌 | 抵 | 挺 | 提 | 梯 | 汀 | 碇 | 禎 | 程 | 締 | 艇 | 訂 | 諦 | 蹄 | 逓 | |
| | 452X | | 邸 | 鄭 | 釘 | 鼎 | 泥 | 摘 | 擢 | 敵 | 滴 | 的 | 笛 | 適 | 鏑 | 溺 | 哲 |
| | 453X | 徹 | 撤 | 轍 | 迭 | 鉄 | 典 | 填 | 天 | 展 | 店 | 添 | 纏 | 甜 | 貼 | 転 | 顛 |
| | 454X | 点 | 伝 | 殿 | 澱 | 田 | 電 | | | | | | | | | | |
| ト | 454X | | | | | | | 兎 | 吐 | 堵 | 塗 | 妬 | 屠 | 徒 | 斗 | 杜 | 渡 |

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 455X | 登 | 菟 | 賭 | 途 | 都 | 鍍 | 砥 | 砺 | 努 | 度 | 土 | 奴 | 怒 | 倒 | 党 | 冬 |
| 456X | 凍 | 刀 | 唐 | 塔 | 塘 | 套 | 宕 | 島 | 嶋 | 悼 | 投 | 搭 | 東 | 桃 | 梼 | 棟 |
| 457X | 盗 | 淘 | 湯 | 涛 | 灯 | 燈 | 当 | 痘 | 祷 | 等 | 答 | 筒 | 糖 | 統 | 到 | |
| 462X | | 董 | 蕩 | 藤 | 討 | 謄 | 豆 | 踏 | 逃 | 透 | 鐙 | 陶 | 頭 | 騰 | 闘 | 働 |
| 463X | 動 | 同 | 堂 | 導 | 憧 | 撞 | 洞 | 瞳 | 童 | 胴 | 萄 | 道 | 銅 | 峠 | 鴇 | 匿 |
| 464X | 得 | 徳 | 涜 | 特 | 督 | 禿 | 篤 | 毒 | 独 | 読 | 栃 | 橡 | 凸 | 突 | 椴 | 届 |
| 465X | 鳶 | 苫 | 寅 | 酉 | 瀞 | 噸 | 屯 | 惇 | 敦 | 沌 | 豚 | 遁 | 頓 | 呑 | 曇 | 鈍 |

ナ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 466X | 奈 | 那 | 内 | 乍 | 凪 | 薙 | 謎 | 灘 | 捺 | 鍋 | 楢 | 馴 | 縄 | 畷 | 南 | 楠 |
| 467X | 軟 | 難 | 汝 | | | | | | | | | | | | | |

ニ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 467X | | | | 二 | 尼 | 弐 | 迩 | 匂 | 賑 | 肉 | 虹 | 廿 | 日 | 乳 | 入 | |
| 472X | | 如 | 尿 | 韮 | 任 | 妊 | 忍 | 認 | | | | | | | | |

ヌ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 472X | | | | | | | | | 濡 | | | | | | | |

ネ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 472X | | | | | | | | | | 禰 | 祢 | 寧 | 葱 | 猫 | 熱 | 年 |
| 473X | 念 | 捻 | 撚 | 燃 | 粘 | | | | | | | | | | | |

ノ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 473X | | | | | | 乃 | 廼 | 之 | 埜 | 嚢 | 悩 | 濃 | 納 | 能 | 脳 | 膿 |
| 474X | 農 | 覗 | 蚤 | | | | | | | | | | | | | |

ハ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 474X | | | | 巴 | 把 | 播 | 覇 | 杷 | 波 | 派 | 琶 | 破 | 婆 | 罵 | 芭 | 馬 |
| 475X | 俳 | 廃 | 拝 | 排 | 敗 | 杯 | 盃 | 牌 | 背 | 肺 | 輩 | 配 | 倍 | 培 | 媒 | 梅 |
| 476X | 楳 | 煤 | 狽 | 買 | 売 | 賠 | 陪 | 這 | 蝿 | 秤 | 矧 | 萩 | 伯 | 剥 | 博 | 拍 |
| 477X | 柏 | 泊 | 白 | 箔 | 粕 | 舶 | 薄 | 迫 | 曝 | 漠 | 爆 | 縛 | 莫 | 駁 | 麦 | |
| 482X | | 函 | 箱 | 硲 | 箸 | 肇 | 筈 | 櫨 | 幡 | 肌 | 畑 | 畠 | 八 | 鉢 | 溌 | 発 |

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 483X | 醗 | 髪 | 伐 | 罰 | 抜 | 筏 | 閥 | 鳩 | 噺 | 塙 | 蛤 | 隼 | 伴 | 判 | 半 | 反 |
| 484X | 叛 | 帆 | 搬 | 斑 | 板 | 氾 | 汎 | 版 | 犯 | 班 | 畔 | 繁 | 般 | 藩 | 販 | 範 |
| 485X | 釆 | 煩 | 頒 | 飯 | 挽 | 晩 | 番 | 盤 | 磐 | 蕃 | 蛮 | | | | | |

ヒ

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 485X | | | | | | | | | | | | 匪 | 卑 | 否 | 妃 | 庇 |
| 486X | 彼 | 悲 | 扉 | 批 | 披 | 斐 | 比 | 泌 | 疲 | 皮 | 碑 | 秘 | 緋 | 罷 | 肥 | 被 |
| 487X | 誹 | 費 | 避 | 非 | 飛 | 樋 | 簸 | 備 | 尾 | 微 | 枇 | 毘 | 琵 | 眉 | 美 | |
| 492X | | 鼻 | 柊 | 稗 | 匹 | 疋 | 髭 | 彦 | 膝 | 菱 | 肘 | 弼 | 必 | 畢 | 筆 | 逼 |
| 493X | 桧 | 姫 | 媛 | 紐 | 百 | 謬 | 俵 | 彪 | 標 | 氷 | 漂 | 瓢 | 票 | 表 | 評 | 豹 |
| 494X | 廟 | 描 | 病 | 秒 | 苗 | 錨 | 鋲 | 蒜 | 蛭 | 鰭 | 品 | 彬 | 斌 | 浜 | 瀕 | 貧 |
| 495X | 賓 | 頻 | 敏 | 瓶 | | | | | | | | | | | | |

フ

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 495X | | | | | 不 | 付 | 埠 | 夫 | 婦 | 富 | 冨 | 布 | 府 | 怖 | 扶 | 敷 |
| 496X | 斧 | 普 | 浮 | 父 | 符 | 腐 | 膚 | 芙 | 譜 | 負 | 賦 | 赴 | 阜 | 附 | 侮 | 撫 |
| 497X | 武 | 舞 | 葡 | 蕪 | 部 | 封 | 楓 | 風 | 葺 | 蕗 | 伏 | 副 | 復 | 幅 | 服 | |
| 4A2X | | 福 | 腹 | 複 | 覆 | 淵 | 弗 | 払 | 沸 | 仏 | 物 | 鮒 | 分 | 吻 | 噴 | 墳 |
| 4A3X | 憤 | 扮 | 焚 | 奮 | 粉 | 糞 | 紛 | 雰 | 文 | 聞 | | | | | | |

へ

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4A3X | | | | | | | | | | | 丙 | 併 | 兵 | 塀 | 幣 | 平 |
| 4A4X | 弊 | 柄 | 並 | 蔽 | 閉 | 陛 | 米 | 頁 | 僻 | 壁 | 癖 | 碧 | 別 | 瞥 | 蔑 | 箆 |
| 4A5X | 偏 | 変 | 片 | 篇 | 編 | 辺 | 返 | 遍 | 便 | 勉 | 娩 | 弁 | 鞭 | | | |

ホ

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4A5X | | | | | | | | | | | | | | 保 | 舗 | 鋪 |
| 4A6X | 圃 | 捕 | 歩 | 甫 | 補 | 輔 | 穂 | 募 | 墓 | 慕 | 戊 | 暮 | 母 | 簿 | 菩 | 倣 |
| 4A7X | 俸 | 包 | 呆 | 報 | 奉 | 宝 | 峰 | 峯 | 崩 | 庖 | 抱 | 捧 | 放 | 方 | 朋 | |
| 4B2X | | 法 | 泡 | 烹 | 砲 | 縫 | 胞 | 芳 | 萌 | 蓬 | 蜂 | 褒 | 訪 | 豊 | 邦 | 鋒 |
| 4B3X | 飽 | 鳳 | 鵬 | 乏 | 亡 | 傍 | 剖 | 坊 | 妨 | 帽 | 忘 | 忙 | 房 | 暴 | 望 | 某 |

| | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 4B4X | 棒 | 冒 | 紡 | 肪 | 膨 | 謀 | 貌 | 貿 | 鉾 | 防 | 吠 | 頬 | 北 | 僕 | 卜 | 墨 |
| | 4B5X | 撲 | 朴 | 牧 | 睦 | 穆 | 釦 | 勃 | 没 | 殆 | 堀 | 幌 | 奔 | 本 | 翻 | 凡 | 盆 |
| マ | 4B6X | 摩 | 磨 | 魔 | 麻 | 埋 | 妹 | 昧 | 枚 | 毎 | 哩 | 槙 | 幕 | 膜 | 枕 | 鮪 | 柾 |
| | 4B7X | 鱒 | 桝 | 亦 | 俣 | 又 | 抹 | 末 | 沫 | 迄 | 侭 | 繭 | 麿 | 万 | 慢 | 満 | |
| | 4C2X | | 漫 | 蔓 | | | | | | | | | | | | | |
| ミ | 4C2X | | | | 味 | 未 | 魅 | 巳 | 箕 | 岬 | 密 | 蜜 | 湊 | 蓑 | 稔 | 脈 | 妙 |
| | 4C3X | 粍 | 民 | 眠 | | | | | | | | | | | | | |
| ム | 4C3X | | | | 務 | 夢 | 無 | 牟 | 矛 | 霧 | 鵡 | 椋 | 婿 | 娘 | | | |
| メ | 4C3X | | | | | | | | | | | | | | 冥 | 名 | 命 |
| | 4C4X | 明 | 盟 | 迷 | 銘 | 鳴 | 姪 | 牝 | 滅 | 免 | 棉 | 綿 | 緬 | 面 | 麺 | | |
| モ | 4C4X | | | | | | | | | | | | | | | 摸 | 模 |
| | 4C5X | 茂 | 妄 | 孟 | 毛 | 猛 | 盲 | 網 | 耗 | 蒙 | 儲 | 木 | 黙 | 目 | 杢 | 勿 | 餅 |
| | 4C6X | 尤 | 戻 | 籾 | 貰 | 問 | 悶 | 紋 | 門 | 匁 | | | | | | | |
| ヤ | 4C6X | | | | | | | | | | 也 | 冶 | 夜 | 爺 | 耶 | 野 | 弥 |
| | 4C7X | 矢 | 厄 | 役 | 約 | 薬 | 訳 | 躍 | 靖 | 柳 | 薮 | 鑓 | | | | | |
| ユ | 4C7X | | | | | | | | | | | | 愉 | 愈 | 油 | 癒 | |
| | 4D2X | | 諭 | 輸 | 唯 | 佑 | 優 | 勇 | 友 | 宥 | 幽 | 悠 | 憂 | 揖 | 有 | 柚 | 湧 |
| | 4D3X | 涌 | 猶 | 猷 | 由 | 祐 | 裕 | 誘 | 遊 | 邑 | 郵 | 雄 | 融 | 夕 | | | |
| ヨ | 4D3X | | | | | | | | | | | | | | 予 | 余 | 与 |
| | 4D4X | 誉 | 輿 | 預 | 傭 | 幼 | 妖 | 容 | 庸 | 揚 | 揺 | 擁 | 曜 | 楊 | 様 | 洋 | 溶 |
| | 4D5X | 熔 | 用 | 窯 | 羊 | 耀 | 葉 | 蓉 | 要 | 謡 | 踊 | 遥 | 陽 | 養 | 慾 | 抑 | 欲 |

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4D6X | 沃 | 浴 | 翌 | 翼 | 淀 | | | | | | | | | | | |

ラ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4D6X | | | | | | 羅 | 螺 | 裸 | 来 | 莱 | 頼 | 雷 | 洛 | 絡 | 落 | 酪 |
| 4D7X | 乱 | 卵 | 嵐 | 欄 | 濫 | 藍 | 蘭 | 覧 | | | | | | | | |

リ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4D7X | | | | | | | | | 利 | 吏 | 履 | 李 | 梨 | 理 | 璃 | |
| 4E2X | | 痢 | 裏 | 裡 | 里 | 離 | 陸 | 律 | 率 | 立 | 葎 | 掠 | 略 | 劉 | 流 | 溜 |
| 4E3X | 琉 | 留 | 硫 | 粒 | 隆 | 竜 | 龍 | 侶 | 慮 | 旅 | 虜 | 了 | 亮 | 僚 | 両 | 凌 |
| 4E4X | 寮 | 料 | 梁 | 涼 | 猟 | 療 | 瞭 | 稜 | 糧 | 良 | 諒 | 遼 | 量 | 陵 | 領 | 力 |
| 4E5X | 緑 | 倫 | 厘 | 林 | 淋 | 燐 | 琳 | 臨 | 輪 | 隣 | 鱗 | 麟 | | | | |

ル

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4E5X | | | | | | | | | | | | | 瑠 | 塁 | 涙 | 累 |
| 4E6X | 類 | | | | | | | | | | | | | | | |

レ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4E6X | | 令 | 伶 | 例 | 冷 | 励 | 嶺 | 怜 | 玲 | 礼 | 苓 | 鈴 | 隷 | 零 | 霊 | 麗 |
| 4E7X | 齢 | 暦 | 歴 | 列 | 劣 | 烈 | 裂 | 廉 | 恋 | 憐 | 漣 | 煉 | 簾 | 練 | 聯 | |
| 4F2X | | 蓮 | 連 | 錬 | | | | | | | | | | | | |

ロ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4F2X | | | | | 呂 | 魯 | 櫓 | 炉 | 賂 | 路 | 露 | 労 | 婁 | 廊 | 弄 | 朗 |
| 4F3X | 楼 | 榔 | 浪 | 漏 | 牢 | 狼 | 篭 | 老 | 聾 | 蝋 | 郎 | 六 | 麓 | 禄 | 肋 | 録 |
| 4F4X | 論 | | | | | | | | | | | | | | | |

ワ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4F4X | | 倭 | 和 | 話 | 歪 | 賄 | 脇 | 惑 | 枠 | 鷲 | 亙 | 亘 | 鰐 | 詫 | 藁 | 蕨 |
| 4F5X | 椀 | 湾 | 碗 | 腕 | | | | | | | | | | | | |
| 4F5X | | | | | | | | | | | | | | | | |

# 3. ユーティリティ（ワードランド文II 文書テープ変換）の使いかた

## 1. ユーティリティのスタート方法

[U]キーを押しながら電源を入れるか，またはRESETボタンを押します。

## 2. 使いかた

ユーティリティがスタートすると，次のような画面が表示されます。

```
テープとディスクをセットして
リターン・キーをおしてください
(やめるとき……CTRL + STOP)
```

①コンピューターにデータコーダーを接続し，「ワードランド文II」の文書テープを入れます。

②ディスクドライブAに「漢熟トマト」の文書ディスクを入れます。

③データコーダーのPLAYボタンを押してテープをスタートさせ，[RETURN]キーを押します。

テープから文書を読み込むと「よみこみぶんしょ：」とその文書名を表示し，1文書読み終わるごとに「かきこみぶんしょ：」と文書名を表示してディスクへの書き込みを始めます。

④途中で読み込みをやめるか，テープを全部読み終えたら，[CTRL]キーと[STOP]キーを同時に押してください。

⑤プログラムディスクを入れて[RETURN]キーを押します。これでユーティリティモードが終了します。

ご注意

1. 文書名について

読み込んだ文書名と同じ文書名がディスクにないときは，その文書名がディスクにそのまま書き込まれますが，同じ文書名がディスクにあったり，読み込んだ文書に文書名がないときは，自動的に“BTAPEnnn”（nnnは000から999までのうちの最初に見つけた未使用の番号）という文書名がつきます。

2. 外字について

読み込んだ文書に外字（1文書最大8個まで）があるときは，「漢熟トマト」の外字ファイルを先頭から300番目までの未登録のスペースを探していき，順次割り付けていきます。外字登録のスペースがなくなったときは，それ以降に読み込んだ外字のデータは無視されます。

# ファンクションキーによる機能の一覧表

| F1 | F2 | F3 | F4 | F5 | |
|---|---|---|---|---|---|
| その他 | かな／ローマ | 印刷 | 終了 | レイアウト | パターン1 |
| その他 | 半角 | 倍角 | 下線 | カタカナ | パターン2 |
| その他 | スクロール | 改ページ | 中寄 | 右寄 | パターン3 |
| その他 | 左寄 | | | 検索 | パターン4 |
| その他 | 移動 | 複写 | 行削 | 行あけ | パターン5 |
| その他 | 結合 | 書式 | 語削 | 語録 | パターン6 |
| その他 | 字作 | 字選 | マーク | 16進 | パターン7 |

F1 キー（その他）を押すと，画面上のファンクションキーの表示が上の7種類(パターン1からパターン7まで，全部で26種類のファンクション）に変化します。

# ファンクションキー以外のキーの一覧表

| キー | 機　能 |
|---|---|
| スペース | 〈変換対象〉がある場合は変換、ない場合はスペースの入力 |
| SHIFT ＋ スペース | 現在変換中の部分を確定し，残りの部分を変換 |
| RETURN | 〈変換対象〉がある場合は確定，ない場合は改行 |
| SHIFT ＋ RETURN | 行を2分する（行間あけ） |
| ESC | 〈変換対象〉を1文字減らす |
| SHIFT ＋ ESC | 漢字変換中に変換を中止する（かなに戻す） |
| HOME | 1ページ1行目の先頭に行く |
| SHIFT ＋ HOME | 入力されている文の終わりに行く |
| SELECT | 漢字変換中に，該当する漢字が通り過ぎてしまった場合，１字ずつ戻る |
| STOP | 現在実行中の作業を中止する |
| SHIFT ＋ DEL | カーソルがある位置から改行マークまでを削除する。カーソルが改行マーク上にあるときは，行の併合 |
| TAB | カーソルを現在位置から４文字分右へ移動する |
| GRAPH ＋△▽△▷ | けい線を引く |
| SHIFT ＋△▽ | 画面表示を1画面単位で移動する |